京城日報

本紙定價　一部金五錢　一ケ月金一圓二十錢（郵稅共）
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話長六千九番

京城時間表

[illegible]

自主の精神（一）

アングロサクソン人種優勢の眞原因

巴里大學教授　ロカフオルト博士

此の一編は巴里大學のロカフオルト教授が著はした『中學校の德育』中の一節である。大戰前の著書で今日とは大分事情を異にしてゐるけれども、其中に動かし難い眞理がある。即ち他山の石として必ず參考すべきものと信じて抄譯した（桂堂生）

善良な教育者は、兒童を指導して自己の何たるかを覺らせ、自ら自己の思考と行爲とを支配させ、道理と意志とを以て自らを治させ、やがて教師を離れて、自立すべきものなることを彼等に知らしむる者である。私は此事を『自主の精神を涵養せしむる』と云ふのである。然し自主といふ語は種々なる意義に使用せられるから今少しく之を說明する。

吾人が玆に自主の精神といふのは、彼の有害な利己主義をいふのではない。世人は動もすると此乾燥な利己主義を飾るに科學的の美名を以てしようとするが、此の利己主義は吾人の劣なる本能中に其根柢を有する者で、ダーウヰン又はスペンサーの主義よりも更に劣なるものである。家族、自己、人格等を全く自己本位に犧牲して、自己を以て萬有の最上位を占むるものとなし、少しも他に讓ることを爲さない個人主義は、之を利己主義といふべきである。

自己を修養し兼ねて他人を尊敬する所の自主は、凡ての意味に於ける人格の發展に外ならぬのである。而して其人格は吾人の知力を働かし性を完成し、特に醇乎たる正しい意志の發達によつて得らるべきものである。吾人は之を以て創意的若くは責任の觀念と同意義なりとするのである。

此自主の精神は決して利己主義とはならずして、寧ろ却て種々よき特色を有する利他主義となるのである。即ち之を寬容な態度に應用したものが、アツサの騎士、聖パンサント、ポール及びパスチエールである。彼等にして自主の精神なく、又彼等にして自己の天賦の才能を高く發達せしめなかつたならば、彼等は決して彼等の如くなるを得なかつたのである。彼等が若し自己に注意せば、彼等の有する德性を普通人の有する平凡の程度に止まらしめたならば、彼等は單に凡人となつたのみで、決して偉人の域には達しなかつたであらう。

那翁を指導した偉人は果して如何なるものであらうか。凡て效果は之を應用する方法に關するものである。即ち應用せられた自主說によつて偉大な發見が人類の敵となることは、恰も濫用せられた自主說によつてパンサント、ポールが舞踏家となつたと同じである。

農村問題の對策

文部省督學官　井上有智

農村を去つて都會に集注するといふ事は近來に至つて始まつた事ではないが、殊に我國農村將來の爲に甚だ堪へぬ次第である

都會へ〳〵と殺到する傾向から都會に入りを爲すものが極めて多くなる一方、戰後財界の變調やら其他の事情に依つて失業者が續出し、之等の者が都會に入り込む關係からでもあらうが、都會の人口は漸く上にも激增せらるゝに至つた。然るに一方農村に於ても、農業に從事して居つたのでは近頃のやうに生產品が安く、用品や肥料代が騰貴してゐる時に於ては、到底生計の安易を得る譯に行かなくなつた。玆に農村問題が起り小作爭議が頻發するに至つたのであるが其結果農村を去つて都會に入る者が益々激增したのであらう。

之は社會政策上寔に堪へざる次第であつて、根本的に之が解決に努めることは刻下の急務である

農村より都會に移る者をして歸農せしめ、小作爭議を緩和せんとする方策は、現に種々の方面に於て試みられてゐるが、先づ夫れには農村の疲弊を挽回し、農村の振興助長を圖り、農村を愛すると云ふ觀念を根強く植付けしめ、眞に愉快に農業に從事する方法を講じて、根本的に解決せねばならぬと思つてゐる。之に就て私は過般師範學校の改善問題が起り、小學校教員の素質を向上し、兒童の知能啓發に全きを期せしむる爲には師範學校の年限延長を行ふの必要があると云ふ事を推察したものであるが、此の師範教育は更に農村の現狀を救ふ事に重きを置いて實行したい。即ち現在男子部と女子部と別れて授業してゐるが、それよりも大なる問題は、現在地方に於ては農業に關する課目を殆んど置いてゐない事である。都會の師範學校は都會化を以て商工に重きを置くと同時に、地方に於ては農業に關する智能啓發に重きを置き、併して小學校當時より農を愛する觀念を强からしめるやうにしたいと思ふ。故に師範教育の改善を以て我國農業の振興を圖り、以て農村問題や非衞生的である都會への集注せしむるの弊害を驅除したい。

然るに只是だ困難に思ふのは、從事者即ち小作農や自作農が非常な生活難であることで、從て生活難をどう云ふ風に解決して行けばよいかといふことが問題である。此ばならぬのは農業教育の振興である。

別天地

東京目黑行人

◎昨今の如く九十四度九十六度と云ふが如き高温度のつゞくことは、東京に於ては稀有の現象、殊に濕氣の多い爲め人の苦痛を感ずることが一層甚だしい。東京市養育院へ運ばるゝ行路病者は日々絶えない一方であるが、その內少くも一人や二人は必ず息の根が絶えて居るさうである。

◎チブスや赤痢患者も殖えてゆく一方であるが、今更の如く井戸水の檢査を行ひつゝある衞生部防疫官の談によると、牛込區の榎町及榎町附近の井戸水を試驗管に入れて硝酸銀水を滴下すると見る間に白濁を生ずる。換言すれば此の附近の市民は一ケ月間に一人平均一貫目乃至二貫目の大小便を飲んで居ることになるさうである。假裝病の猖獗なのに何の不思議があらう。

◎かゝる間にあつてボロイ儲けをするのは氷屋である。如何なる水商賣だ。儲けられる時に儲けたいだけ儲けてと云ふのであらうが、氷屋よりも更に一層儲けて居るのは製氷會社である。製氷會社の數は至つて少い。お互の協定は直ぐ出來る。市場を左右するのは朝飯前の仕事だ。これが爲めに一般需用者が不合理な打擊を蒙るのは魚河岸と病院とである。どつちへ向いても東京に於ける市民生活は難々で安全でもない。

◎山梨陸相は七日を以て政友會幹部と二度目の會見を遂げた。七月八日の第一回會見は、鈴木總務と陸軍當局との間に發表された所謂整理案が全く未定稿であることに關する辯明の會談であつたが、八月七日の第二回會見は其後陸軍で纏めた整理案を手にして政友會の諒解を求めんが爲であつた。

◎兵役の期限を八十七日短縮すると、將校下士一千八百八人、兵卒五萬六千人、馬四一萬三千頭を減少すること、今後十ケ年間に約四千萬圓の經費を節約することが出來ると云ふのが其主要點で、第一回の夫れに比すれば餘程政友會の主張に近づいて來て居る。陸相はまた同日貴族院の各派代表者にも同樣の說明を試むるであらうが、政友會は目下の處賛とも否とも云はない。しかし大概落ちは判つて居る。

言論界

住宅難緩和の一策

【讀者】近來住宅難の聲に刺戟されてか當局の臨時措置が流行して來た。歐米各國を見ても、日本の當局のやうに市中に膨大な家屋を構へて居るものはない。之を解放するのは一般に社會奉仕の美擧に相違ない。然し一に社會奉仕の一つである以上は一層民衆的にして貰ひたい。即ち之を貸地とするか又は貸家を建築して貸して貰ひたい。當局が住宅經營に手を出さないのは猶更の事である。當局は何れも住宅經營をやつたものであるのだから今日の如き無家主の跋扈を見ることは少かつた。何れの點から觀ても當局の住宅經營を必要とする。

地方官會議と訓示

【東朝】地方官會議に於ける加藤首相以下各大臣の訓示を一言にして盡せば、抽象的に羅列されて具體的には未だ確實であると言ふに一部盡きる。首相は行政財政の整理を力說し來年度の豫算に於て相當の金額を節減すべしと宣べたが、軍備縮小行政財政の整理に依り歳計上に幾干の餘裕を生ずるや未だ確實でないと言ひ、勞資協調等に就ては十分に考慮する旨を示したが、其如何なる方面より着手すべきかの一端をしも明にせぬ。內相、陸相の訓示に於ても亦然りである。今回の訓示に於て現れたる方針が果してどの程度まで行はれるかは、現內閣の勢力と存立の意義とを問はるべき分岐點であらう。殊に首相は普選論者たることを表明した。此等に對する責任は重大で、國民の之に對する記憶は鮮明である。

政黨の無能不入氣

【國民】近頃政黨に重きを置かず、政黨家自身も之を悲觀する所を知らずと云ふ有樣は、政友會積年の橫暴と憲政會の無氣力に愛想をつかしたのに依るが、實は世界立憲國を通じて政黨は不入氣不信用である。政黨の本場たる英國も其の全盛期は十九世紀で、大戰後から變態となり、政治學者は財政經濟及文化は回復すべしと雖も、政黨政治は回復の見込なしと云つて居る。十九世紀末から學者有識者が政黨の不信無能を指斥するものが多くなり、やがて議院の不信無能を指斥するものが多くなつて來た。立法部不信用からである。議會の立法權の上に直接立法が天下を通じて施用せらるゝ所から推しても、議院政治、政黨萬能時代は最早過ぎ去つた事が知れる。是が轉回策は各黨人の責任である。

東西南北

△砲術上の新レコード　目下佐伯灣で實施中の第一艦隊の艦砲射擊訓練に於て第一艦隊の陸奧は二萬八千米突の距離で演習用の砲彈を以て見事に標的を捉へ十六吋砲の威力を發揮した。元來十六吋砲の射擊距離は三萬五千米突であるが、從來着彈觀測點からは二萬米突位の觀測が限度となつてゐたが、二萬八千米突の遠距離で射擊をなし得たのは全く航空機の賜物であると。

△之から後の軍備競爭　英國は國防の爲に飛行機五百臺を準備しようとしてゐると報ぜられてゐる。今後の戰爭が空中と海中とに推移したのは爭ふべくもない。從つて戰艦の制限は將來戰爭を防止する策とならうとは信ぜられぬ。次期の競爭は飛行機と潛水艇とに依つて繼續せらるゝであらう。

△革命軍兵卒の除隊令　齊々哈爾新聞の報に依ると六月二十一日極東共和國の大臣會議に於て國民革命軍兵卒の除隊に就て次のやうに可決してゐる

步兵特科兵、輕砲及野砲兵隊は三十二歲以上のもの
騎兵及騎砲兵は二十六歲以上のもの
延期中の特種技術兵、裝甲列車兵に服役勤務兵は二十七歲以上のもの

外人の眼に映じた新約

明治廿年日本に移住して關西學院に廿餘年の久しい間教鞭を執つて居た米國神學博士エス・エッチ・ウエンランド氏は目下東京築地の邸に老後を養ひつゝ宗教哲學の著作に耽つて居るが、氏は江原小彌太氏の『新約』も既に讀んで「私は觀方の違ふ所もあるがローマ帝國時代の微細を寫す正確さには敬服する」と嘆賞して居る相だ。凡て人間には好き嫌ひがあつて同一の作品でも讀む人に依つて觀方の違ふものだが、併し『新約』のやうな大藝術品になれば最早好き嫌ひを越して、世評を超越してゐる。日本人でも外國人でも誰でも一度讀んだものは不思議な感嘆の辭を放たずには居られぬ程、其れ程價値の絕大なるものである。

日本の某劇場では嘗てこれを芝居に仕組むべく狙つて見たが餘りに規模が大き過ぎるので手を引いた。これを芝居にすれば忠臣藏以上の大仕掛で少くとも三千人の登場人物を要し且つ背景とすべき土地が日本にはない。と云つて海外へ出懸けるとせば之亦莫大の費用を要するので沙汰止みになつてゐる。が、かやうにして『新約』の聲價は世界的に高められてゆく。

（創作『新約』上中下三卷合計六百八十九版、定價各二圓八十錢、書留送料各二十三錢）

創作舊約の出づる迄

江原氏の『舊約』は前人の丸で夢想だもしてゐなかつた處に鍬を入れて成功した點に於て世の注目を惹いて居る。が江原氏が豐かな藝術的天分を有しながら四十年の今日まで埋沒して居たのは、全く文壇の傾向に媚びた技巧的の創作を書き得なかつた爲めだと云つてよい。彼は凡てが飾り氣がない、自分のむき出しで其の本領を發揮して居る所謂『荒削りの花崗石』である。如し、この一語は能く彼の凡てを評し得て居る。だから懸賞小說などに應募しても選外佳作にすら其名を列する榮を得なかつた例が多い。故に彼は長く失意の境遇にあつたが如何に苦しんでも其性癖を矯めるべく餘りに融通の利かぬ人間であつたのだ。そして此『舊約』の我を立て通した。そして『新約』のやうな大著を完成した。如何に花崗石や金剛石のやうな質あるものでも、薔薇のまゝで棄てゝ置けば瓦石と選ぶ所がない。併し吾々は磨きをかけたものよりも、薔薇のまゝの花崗石や金剛石を取る。

（江原氏作『舊約』、百五十八版、價二圓八十錢稅廿三錢）

死後には何處へ行くか

學問上の著述と云へば大抵固苦しいものに相場が決つてゐるが江原氏の『心靈學』は全くこれと反對でごく文章がくだけてゐるから中學三年の人にも樂に讀めて理解が出來る。その文章のうまさは丁度バナナかイチゴのやうでこれなら誰が讀んでも興味を感ぜずには居られない。私共の肉體は勿論父母から受けたのだが其肉體に宿る心の心靈は何處から發生したか、又死んだ後には何處へ行くかと云ふ樣な問題は神秘的なものとして未解決のまゝ殘されてゐたが、江原氏は研究廿年の結果、これに對して立派に科學的の解決を與へてゐる。かうした大問題を小說でも讀むやうな氣持で究める事の出來るのは著者に感謝すべきである。

（江原氏著『心靈學』上卷（四版）下卷（三版）各三圓五十錢書留送料各二十五錢）

…が天下を風靡した事があるがそれは彼の筆がうまいと云ふ事以外に彼の言行其物が其日其日に冒險小說を作つてゐたからだ。江原氏の創作の歡迎されるのもこれと理由に變りがない。彼の創作に現はれた思想は今迄の人々とは餘程變つてゐる。それは彼が好んで異を立てるのではなく江原の人格其物の發現であるのだ。『江原短篇集』には婦人の誘惑に苦悶してゐる幾多の場面があるが彼は主義として戀をしない女には決して手を觸れない。故に人に强ひられて遊里に足を踏入れた事がない。多くの人は性慾卽ち戀愛であると考へてゐるが彼は此兩者に截然區別を立てゝ肉を要求しない戀愛を唱道してゐる。それでゐて女は好きだといふのだから頗る變つてゐる。年少時代男操倶樂部を組織した理想を今日迄押し通してゐるも餘程變つてゐる。又彼は幼時數人の假親のために苦しめられた結果親子の關係の矛盾を知り一般道德を破壞し新道德を建設しようと努めてゐる。これが恐らく彼の作に其心を傾倒する所以であらう。

（江原氏著『江原短篇集』廿八版、價二圓廿錢稅廿三錢）

本年の讀書界の新現象とも見るべきは江原氏の創作物が盛んに讀まれつゝある事である。

現代人に共鳴する所以

目下の流行は市松模樣で讀書界では江原氏の新約、舊約、短篇集。

如何に精巧な事でも言行不一致の事を書いたのでは人が共鳴する筈がない。嘗つて押川春浪の冒險小說

人氣ある詩歌書

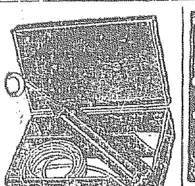
▲新刊▼　生田春月譯　バイロン詩集　價一圓廿錢稅八錢
▲（一）小曲集▼（二）新詩集▼　中山充譯　ハイネ全集　價各二圓七十錢　書留各十七錢
生田春月編　泰西名詩名譯集　▲三十二版▼價一圓十錢稅八錢
生田春月編　日本近代名詩集　▲三十五版▼價一圓　稅八錢

以上各書の發行元は
東京市神田區仲猿樂町　越山堂　電話九段一三九二番　振替東京一二九五四番

八島柳堂氏著
童話の泉
少年少女　夏の讀物
美ひくづれる様な面白い話
心から胸の躍る愉快な話
涙のこぼれる悲しい話
再版價六十五錢
京城日報社代理部

▲いろは字典の一大改造
新案記憶式　和漢英活用辭典（忽拾五版）
イロハ四十八字で數萬の漢字と英語がスグわかる
特長無類　本書は東京市立第一中學校長小林博士が苦心多年の考案により漢字と英語が同時にわかるやうに仕組たる劃期的の大辭典にして英語には一々正確な發音を附し然も文字の排列順序はイロハ四十八字の一大改革を加へたれば何人にも直ちに引けて便利なり

特價參圓廿錢（送料四十錢）
▲東京市麹町區平河町五丁目　振替東京三四六七番　耕文堂（電話九段二一六二七）

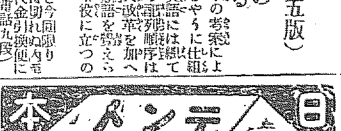
職業

鑛石式無線電話器　ラヂオ
日三圓　友榮商店　大阪九條中通二丁目　電話西二一七番

醫藥を超えて　靈驗赫々
◎ラヂオの優秀なる點
本製品は斯道大家の推賞せらるゝ玩具的物品と異り一生涯使用し得る保證付
暴利征伐　本器の如き靈驗ある器を一般御家庭に汎く應用せしむる爲め暴利を避け
正價金參拾八圓の處　特價特製品一式一臺　金貳拾八圓也
東京市芝區南佐久間町二丁目十六番　明治工業所電氣部　電芝三八九〇番

意匠斬新、示時正確　パシヒック

パシヒックは世界中のあらゆる時計を對照して比較的一番低廉であることは時計師も素人も褒めます
パシヒックは何れの時計店でも責任を負て保險附で賣つて居ます而も案外價格が安く品の良いので百人が百人とも驚かれます。

最新刊
朝永三十郎　カントの平和論　一、六〇
松本悟朗　哲學の話　一、三〇
原田三夫　海の科學　一、二〇
同　山の科學　一、五〇
藤鉀一　人間哀史　一、九〇
長岡義夫　最後の一線　一、九〇
高野融藏　愛の極み　一、二〇
大泉黑石　老子　二、七〇
京城　大阪屋號

日本テント


天幕テント類日覆、防水布製造販賣業
日本テント商會
大阪市南安治川通四丁目電停前　電話西八五五番

總督府、道廳、郡廳、各銀行會社納品
あらゆる謄寫機に卓越せる
國際式謄寫機
謄寫版界の最高權威
特徵　舊式の如く直接原紙の上をルーラーで轉がして印寫する不便を除き尤も輕快に、手指を汚穢する事なく、赤青等の色刷も洗滌せず其まゝ使用され、鐵筆毛筆の兩用の印刷自由、構造特殊の考案のもとに製作されたるを以て從來の印寫に要する時間と手數とを省き得て數倍の印刷能力を有する最高謄寫機なり
附屬品　インキ各色、鐵筆毛筆原紙各種、タイプライター原紙、毛筆用原紙インキ其他消耗品一切
時は金なり寸刻を競ふ現今一刻も早く本機の御使用により十分なる好成績を擧げられん事を
カタログ御報次第送呈す
京城日報代理部

品質よし　能率よし
使ひ易し　値段安し
川北モートル
京城府黃金町二　川北電氣京城出張所　電話六〇八番

朝鮮諸官職
會員募集
受驗科目講義錄
六ケ月卒業
學費　市内三圓六十錢　地方三圓八十錢
京城本町二丁目　朝鮮受驗學會　振替京城九五五一
入會は只今スグ必ず成功す
編輯顧問　諸官廳大官各位
執筆者　諸學校專門大家
（全六冊（一號より六號まで）完成）
普通試驗希望者　應試者は直に本會に來り以て實力を修めよ
●申込最好機●
（申込所）京城本町二丁目　嚴松堂書店　電話本局一一六六番　振替京城二四五四番

新學期開講
創立廿週年記念大特典　あり見本付會則無代進呈
成功の基礎は中等教育に在り—何人も本會に入會して中學卒業の學力を獲得せよ
大日本國民中學會
東京神田　電話神田三〇〇二番　振替東京三〇〇〇番
大日本國民中學會

帝政復興會議
―秘密會議にて―

【浦鹽來電】沿黒龍州地方會議は客月三十一日及び八月一日の兩日秘密會議にて開催せられたるが右席上に於ける非社會黨派帝政派の決議左の如し

第一、地方會議は露國に帝政を復興すべく之が主權者はロマノフ家より推戴すべし

第二、沿黒龍州に於ける權力主權者としてロマノフ家より指定せらるゝ皇族を迎へ主權者たらしむべし

第三、新に決定すべき政府は地方會議より決定したる本問題を直に皇太后マリヤフエドロウイチ及びニコラウイチ大公に報告すべし

右三問題に關し之に對する賛否投票の結果は議員總數二百五十名中第一に對し十六第二第三に對し各五十名の反對ありたるもの〻如し

華府條約英批准了

【倫敦十日發電】華盛頓會議諸條約の批准に付き英國は其の全部に亘って完了し諸領土の議會に委ねたる所の條約を附して華府政府に送附し批准を交換すべしと

佛提議貫徹を期す
佛首相大統領よりの教書を受領

【倫敦十日發電】倫敦會議に於て賠償問題を協議し居れる佛國首相ポアンカレー氏は大統領ミルラン氏よりの教書を受取りたるがミルラン大統領は佛國の政策に就いてはポアンカレー氏を全然信任して自己の指令案を與へ同時にポ氏が出來得る限り其の提議を貫徹せんことを希望し若し聯合國が佛國を見捨るが如き場合佛國としては聯合國と乖離するの必要ありや否やに就てはポアンカレー氏が最終の判斷者たるべきことを告げたり而もミルラン大統領は聯合國が佛國の提議に對し部分的承諾を與ふるならば佛國政府は滿足なるべき意向を示したり

倫敦賠償會議延期

【倫敦九日發電】豫定に反し聯合國賠償問題會議は九日開會されずこれ專門家委員の討議が長引き終結を見ざる爲めなりと

對獨賠償問題意見不一致

【倫敦十日發電】財政專門委員會は對獨賠償金問題の解決に關し意見の一致を見る能はず行き惱み居れり

對米人賠償委員會

【華盛頓十一日發電】歐洲戰爭に依る米國人の賠償を決定すべき委員會の任命に關する獨逸との決定出來し獨逸首相ヴイルト博士はハーヂング氏に右委員の一名の判事を指名せん事を求めたりハーヂング氏は大審院判事ウヰリアム、デー氏を指名すべしと

自由一揆軍コルク占領

【ダブリン十日發電】自由國一揆軍は突如としてコルク市を襲撃し遂に同市を占領し未曾有の大激戰を演じたり自由國一揆軍はダブリン市より海上コルク市に向ひ同市を距る三哩の地點に上陸し猛烈に攻撃を開始したり死傷者の數は未だ判明なきも數百名に上るべし右自由國派の襲撃は米國派艦艇を占領したり彼等は暴徒と結束したる結果として逃りたるものにして海上の旅行は頗る危險なりと

獨人五百退去命令

【ストラスブルグ十一日發電】八月五日佛國の牛耳的態度中に反かし居留民の一端として十二日獨逸人五百名に退去命令發せらるゝ筈なる右の人々に對する退去命令は十二日夜半迄に悉く執行さるべしと

ウ元帥暗殺下手人死刑執行

【倫敦十日發電】ウイルソン元帥を暗殺したるダンオスリヴァンは十日死刑を執行されたり

露國革命黨員十五名死刑

【伯林十一日發電】莫斯科最高裁判所は社會革命黨員十五名に死刑の宣告を下しペヅウヤミニ僧正は即時死刑を執行さるゝ事となれり

琿春事件と賠償額
支那損害要求權利有無如何

【北京十一日發電】琿春事件の交渉は唯一度開きたるのみにて目下の提案を顧査中なり賠償額は我が五十餘萬圓に對し支那側は百萬圓以上に達し其の賠償額の大部分は支那に歸化せりと稱する朝鮮人の被害なり支那政府が是等の損害を要求する權利の有無は本交渉の重要なる點にして支那に爭議の餘地を與へたるは歸化に關し間島協約と滿洲條約の規定に矛盾し居れる爲めたりと

虎疫豫防接種開始

【安東縣】滿鐵安東地方事務所管内にて江岸通三、六、五丁目同一圓同日永形組[illegible]通二丁目同日富士紡績工[illegible]にて同所附近の[illegible]は左の日割を以て[illegible]は當業者と當局との間に意見の相違ある爲となつた

頭道溝損害十萬圓
近く外務部に提出

【北京十一日發電】頭道溝事件の我が被害調査は目下小幡公使の手許に在り近く外交部に提出する由なるが損害は約十萬圓なりと

唐内閣案撤回 王内閣同意案提出か
―呉氏又復反對―

【北京十一日發電】黎大總統は唐紹儀内閣の同意案を國會に提出したるが呉佩孚氏の反對と國會側の法律上の手續不備との理由にて議題とならず其の結果政局は混亂し大總統は唐紹儀内閣同意案を撤回し王寵惠氏を正式總理に任命し其他就職せざる閣員は悉く免じ直隸派の者を任命し同意案を提出する方針なるが呉佩孚氏は夫れに滿足せず張陸軍總長を總理に推薦し居れるが直隸の政治干渉は愈々露骨となれり

呉氏聯省自治反對

【北京十一日發電】聯省自治に關する憲法會議は既に一二回開會するに至れるが呉佩孚氏は聯省自治に反對し居れば意外の問題起るやも知れずと

外郵撤退と支那局の準備

【上海十日發電】聞く所に依れば上海支那郵便局は外國郵便局撤廢に應ずる爲め局員に外國語殊に日本語を熟練せしむる爲とし十日より日本語教授を開始したり

孫氏亡命の悲齣
部下泣て別れを惜む

【廣東十日發電】孫文氏は日清汽船大陽丸にて上海に亡命すべき豫定を變更し急に十日香港發の英汽船エムプロレスロシア號に乘るべく九日午後三時半軍艦を出發せり孫氏は亡命前部下の今までの功勞に謝し多くの金を與へたり部下等は孫氏と共に運命を共にせんことを望み離れを惜み見る者をして思はず涙を催さしめたり孫氏と行を共にするは近親者二人のみにして支那服にヘルメット帽を冠れる孫氏の姿は悄然として其の眉宇には再擧の堅き決心を現し部下一同に對し悲壯なる一場の訓示を與へたり

山東鑛山日支合併
―目下細目協定中―

【東京電報】山東に於ける淄川坊子等鑛山の各鑛山は日支合辨に依り經營するに決定し山東懸案細目協定中なるが終了次第合辨會社の設立に着手する段取となり豫め日本側の態度方針を決定し置く必要あるに依り來る十五日三井三菱藤田等の大鑛業家三十餘名を外務省に招致し内田外相より交渉の經緯を說明し同會社の設立に關する盡力出資を依頼し引續き關係者間の會議を開催する筈なりと

九江兵變調査

【漢口九日發電】九江に於ける兵變に關する調査開始されたり

定例閣議開會

【東京電報】定例閣議は十一日午前十時永田町首相官邸に於て開會内田外相より外交經過の報告ありたる後内外重要政務に付き熟議し午後二時散會せり

鐵道省豫算額

【東京電報】鐵道省明年度豫算概算額は一億九千六百萬圓なりと

外調存廢如何
後藤男辭表提出

【東京電報】後藤新平男は外交調査會委員の辭表を提出せり尚犬養氏も近く辭表を提出すべしと傳へらる外交調査會は總辭職となるか又は廢止となるか今の處不明なり

琵琶湖に飛行場設置

【東京電報】琵琶湖利用の海軍飛行場設置問題は堀田滋賀縣知事と海軍當局との間に交渉を進めつゝありしが其の候補地として安川、越川、犬上川等の川尻を擇ばれ居れり

郵便利子引上

【東京電報】郵便貯金一部の利子引上は十一日の閣議に附議されたが今一度次回の閣議に諮り上解決されるならんと

勞働代表は田澤氏か

【東京電報】勞働代表第一候補者河合氏、拒絕したるより外務省は十一日東洋紡績信州城崎に在る賀川豊彦氏に交渉し長野縣知事を介し又外務省より三浦事務官を派し極力代表引受方を懇請したるに賀川氏、は絕對拒絕する旨を三浦事務官より外務省に電報がありたり仍つて直ちに第三候補者たる田澤氏に交渉すべく目下廣島に旅行中の同氏に對し至急上京を促したるに同氏は直に歸京の途に就きたり十三日外務省よりの交渉に應じ諾否を決するならんと

總督講習會臨席

【京城電話】第五回に開催の如く來る二十日修養團京城支部主催の下に金剛山楡岾寺境内に於て全國中學卒業講習會開催に付齋藤總督は之が開會式に參列の爲め臨席することゝなるべしと

下水工事落札

新義州に於ける下水工事は着々と歩を進め其の[illegible]

總督府地方官官制中改正
十一日勅令を以て公布

【東京電報】十一日勅令を以て朝鮮總督府地方官官制中改正の件を公布し即日より施行することゝなりたるが其の要旨左の如し

各道を通じ理事官十三人港務官一人通譯官一人技師十人技手十人森林主事四十五人を増加し同時に各道に部補二十名を増加し同時に各道に視學官を置き理事官を以て之れに充て文府を通じ屬九十二名技手二十二名を増加し道長五人を限り奏任となし得ることゝし道の技師を得る者の待遇と爲すを得る者を五人技師三人を增加す

附記　右文中人員の數字中文字不明の個所あり誤謬なきを保せず不取敢掲げて後日に徵することゝせり

第一條中『地方費』を『道地方費』と改む

第四條及第六條中『道長官』を『道知事』と改む

第五條中『農工銀行』を『朝鮮殖產銀行』と改む

臨時恩賜金收支
規程中改正

【東京電報】十四日總督府訓令を以て臨時恩賜金收支に關する規程中左の通改正さるべし

暴利取締令施行

【東京電報】暴利取締令は十四日の閣議にて決定し施行すべく日用品にも適用せらるべしと

ため來る十五日頃京城出發約五日間の旅程を以て同地に赴く豫定なりと

海運賃値下實現せん

【東京電報】十日の海運委員會に於て前田遞相は物價調節に關係ある海運賃の値下げに關し委員間に懇談的に値下を爲したるが委員側は之れに應諾を與へたるもの〻如し依つて遠からず其の實現を見るに至るべしと云ふ

上香間電信不通

上海香港間海底電信線は本邦方面より二線共不通となり歐洲、濠洲、南洋方面行電報は迂迴通信に依るを以て遲延を免れざるべしと而右故障の爲め倫敦經由亞米利加行電報は大遲延の虞れあるを以て當分其取扱を停止するに至れりと

西鮮郵便線復舊

西鮮地方豪雨の爲鐵道郵便線路に故障を生じたることは既報の通りなるが右は夫々手配し京義線は十一日復舊し同日京城上り一號より全通又新安州价川間鐵道故障個所は十一日より漢車に依り通路するに至れりと

鈴木氏鮮銀理事決定
監事後任發表

【東京支局特電】朝鮮銀行理事故吉川理事の後任として決定せる太田理事、木村雄次郎監事の後任として鈴木穆前東洋拓殖理事に、其の後任として馬越恭平、興津兩氏に十二日決定發表せり

全鮮會社消長

朝鮮に於ける七月中の新設會社は二十五社公稱資本金六百五十七萬五千九百五十圓にして此外に當州電氣株式會社は十萬圓の增資を爲したるを以て合計六百六十七萬五千九百五十圓の增加となれり然れ共他方に於て解散及減資二十六萬七千五百圓ありたるを以て差引六百四十萬八千四百五十圓の增加となりたり從つて七月末現在に於ける本店所在朝鮮の會社は株式會社五百三十四社公稱資本金四億七千二百三十二萬九千圓合資會社一百二十六社資本金[illegible]合名會社六十九社五百七十七萬五千二百十九圓總計八百二十九社四億八千[illegible]となりたり内地又は外國に本店を有する會社にして七月中新たに支店を設けたるもの〻增加なし現在にては三十萬圓を減少し結局七月末現在にては支店會社は株式九十四社公稱資本金六億四千五百五十二萬圓

京畿畜産
逐年需用激増

畜産の概要　本道に於ける畜産の沿革は文獻の徵すべきもの無きを以て之を知るに由なきも古來朝鮮は農業時代に於て家畜の飼養盛んに行はれたるもの〻如く牧場の遺蹟に依りて之を推知することを得べし然るに爾來畜牛の需用は逐年激增し屠殺せらるゝもの多く稍々牛の搬擢及び飼養管理等も敢て顧みられざる狀態なりしに反して畜牛の需用は逐年激增し殊に本道は之を止めざるに於ては著しく減少を來すの虞あるに依り本道は新政の實施に際し畜牛改良の方針を樹立し種牛の配付、種付の獎勵、牝牛の屠殺禁止、改良種牛の保護、家畜の改良增殖に關する施設の一として各郡に畜產組合を設置し并せて道畜產技術員を配置し之れが指導に努めつ〻あり

▲畜牛　畜牛は本道に於ける重要なる産物にして古來京畿牛と稱し役用種として夙に名聲あり現在十一萬頭にして毎年の産額二萬頭に上れり然れども之れを農家及耕地面積に比すれば農家百戶當り四十四頭耕地面積十町歩に對し二頭七分にして平均の農家一戶當り一頭の割に達せず地に於て需用せらるゝものを除くの外は主として内地に移出せらる

▲豚　在來種は體軀矮小肉質の脂肪少く其の繁殖力に富むも發育遲く欠點あり之が改良を圖る爲め大正六年『バークシャー』種『ヨークシャー』種の種豚を輸入し配付繁殖せしめつ〻あると共に之が飼養を獎勵し在來種は漸次改良せられつ〻あり

▲鷄　在來種は肉用として歡迎せらるゝも卵用としては不適なるを以て『プリマスロック』『名古屋コーチン』『白色レグホーン』の三種を輸入し之れが飼養を獎勵しつ〻あり

豫算概算書は數日中に作成
廿日頃中央へ回附
府協議會を決議機關たらしむるは理想としては贊成
有吉政務總監談

有吉政務總監に面會の爲め十二日朝總督府に總監を訪問すると今度とは誠に結構な理想であつて勿論我々當局者もさうした考へは持つて居ますが未だ協議會が開かれてやつと二年しか經たぬのだから何うか暫く待つてくれまいか、まだ生れだてのはやく〳〵であるのにからといふのは餘程の考へものだと思ひます、けれどもさうした立派な理想を一掃して新しい道程に就かうとしての徹底的の努めは非常に愉快なるもので撤頭撤尾世間の勝を今から開くべく努めて居ります

幾ら活動家の總監でも斯う來客に攻められた日にや―とても遣り切れまい……と餘計な心配を氣に病みつゝ待つこと殆ど一時間餘待參の扇子で欠伸を拂ふ頃やうやく我々にお鉢が廻る、蘇生の想ひで廊下へ飛び出し總監を事務室に往訪すると相變らず元氣溌剌なもので然しも鄭重な態度で語る『行政整理の方針も漸く決定しました財政整理の方の編成も大體終了を告げました、然し何れも中央に廻して始めて決定する問題であるから今後どういふ結果になる乎それは確かに判斷する限りではない、實は凡その方針だけでも諸君に知らせてあげたいのだが朝鮮全體の上に及ぼす非常に重大な問題を未決のまゝで發表することは却つて世間を惑はす樣な結果を招來するであらうからぜひとも最後の決定を見る迄は我々の心事を諒としてお待ち下され度いのです、勿論豫算の概算書は數日中に作成され遲くも來る二十日迄には中央政府へ廻附されますそれで私の東上を見るのは財務局長等の上京後中央の樣子が窺はれてそれからの運びになるでせうから早くも九月の初旬か或は中旬になると思ひます京城府協議會の田中氏や金氏等が發起となつて來る十月の交を下し全鮮府協議員の懇話會を開き從來の諮問機關たる協議會を決議機關とする

促進運動を開かうと云ふ相談ができる相であるが未だ當局者として右に對し彼此云ふことは早い

朝鮮史蹟
調査に來りし
久保天隨氏語る

【釜山電話】朝鮮史蹟調査の爲め十二日朝釜山に上陸十時發にて北行せる天隨事久保得二氏は車中にて語る『今度は往復三週間の豫定にて朝鮮の旅行を思ひ立つた次第である』

鎭海重砲兵聯隊改稱

【東京電報】十一日附官報を以て各地部隊の職員改正公布せられたるが其内朝鮮關係のもの左の如し

鎭海重砲兵聯隊を馬山重砲兵聯隊とす

畜産技術員設置

畜産の改良發達上明治四十五年始めて畜産技術員を設置し爾來各郡に之れを配置し指導奬勵上遺憾なきを期せり

大に内地に學ばん
鮮人實業家内地視察團感想

京畿道主催鮮人實業家内地視察團の一行二十名は神尾文書課長外六名の東道にて七月十一日京城出發本月六日歸城せるが視察範圍は三府八縣に亘り其得ることも尠からざる由なるが今鮮人團員の感想を聞くに『聯絡船より上陸して先づ目につくものは山野が青々として樹木の繁茂せることである次ぎに車窓から眺めて

一同の目を驚かせたのは耕地整理が行屆いて田圃の形が非常に整つてゐること及び集約的に利用されてることで而して稻の植付が正條植であることで等見るから爽快を覺えしめる又一般農民が老幼となく男女となく田圃に出て眞面目に勞働せることは朝鮮と比較して實に驚嘆すべき

ものがある例へば汽車の通過する時朝鮮人ならば物珍らしさうに立つて眺めて見るが内地人は頭も向きもせず一心不亂に働いて居る又朝鮮人は腰を下して喫煙して居る者が多いが内地では殆どこれを見受けないそれから内地は朝鮮に比較して一般農民の富の程度が高い外部から觀ても

◇屋の宏壯なこと土藏の多いことが頗る目に立つこと等で居ることに至るまで立派に出來て居ることに依つても窺はれる斯くの如く總てに於て内地人が進歩的であるのは抑も何に原因するかに就て種々の意見が戰はされた或る者は國民の素質が違ふ……

其大體は窺は

れるそれからこれは一つの笑ひ話であるが一同が内地の觀察を終つて釜山へ上陸した所が洪水の爲めに汽車が不通だといふので東萊に二泊したすると今まで氣が付かなかつたのが内地から歸つて來て急に氣付いたのは朝鮮人が酒を飲んで喧嘩をすることである每夜の附近だけでも一晩に三つも喧嘩があつた內地二十五日間の滯在中殆ど飲みの喧嘩なるものを見なかつたのに今後は大に内地に學んで朝鮮を改善し而して内地に劣らない進歩發達を圖りたいと思ふ』云々

所に價面目あり價値面目な所に誠ある所に緊張ありで勝ち得を發揮して今日の繁榮を見るに至つたのだといふ議論もあつた一般國民の風習として殊に田植等が濟んだ農閑期には神社佛閣へ參詣するのを唯一の樂みとして居るのを見ても

鐵道豫算査定

鐵道本社運輸[illegible]

鴨川開陸火大會

【新義州】鴨江日報社主催の江川端納涼花火大會は來る十[illegible]

朝鮮史講習會

朝鮮總督府主催の朝鮮史講習會は今西文學博士を講師として十四日より五日間[illegible]

鮮鐵上旬末在貨

八月上旬末に於ける鮮鐵在貨は南行五千三百四十九噸北行三千四百卅八噸合計八千七百八十七噸にして前旬に比すれば三千二百噸の增加を示せり

種別	噸數	前旬比較
大豆	一九一	六九
米	二二四	△二三七
粟	二六	二六
薪炭	九六	五四
石炭	七五〇	△三一〇
石材砂利	二八二	二三〇
鑛石	……	△五九四
鹽	五二	二六
鹽干魚	二九四	一三〇
麥粉	八	△四
砂糖	二七	△五三
綿織物	二〇	二〇
セメント		
石灰	三一三	一五九
金屬製品	四四三	四〇四
麥	二六	一
雜穀	一七	△一三二
木材	一、〇六六	一二二
繩叺莚	四〇〇	一六
生牛	二〇〇	二〇
食料品	一九	一九
飲料品	六六〇	六五八
綿糸	二	二
綿	二〇	……
肥料	六一	六一
其他	三、九二四	一、七四九
社用品	一、三二四	六八四
計	八、七八七	三、二〇〇
省線行	四六	四六

（△印は減を示す）

軍馬拂下數

第二十師團管下將校馬は廢止と共に師團司令部より拂下すべき將校馬五十頭は十三日午前九時より又騎兵二十八聯隊馬四十三頭も同日午前八時より龍山陸軍練兵場にて競賣に附すべしと

菊池中將日程

西伯利、滿洲方面視察を終り十三日入城すべき陸軍參謀次長菊池愼之助中將の京城滯在日程左の如し

十三日午前六時四十分新義州より入城總督府代表者、軍參謀長、師團參謀の出迎を受け朝鮮ホテルに入る、午前中休憩、午後總督總監訪問並に打合せ（午後四時迄）午後六時頃軍司令官、師團長を訪問後軍司令官の晩餐會に列席▲十四日午前中軍司令部、師團司令部訪問龍山部隊の巡視、ホテル晝食、午後市内觀光同三時昌德宮伺候秘苑仁政殿拜觀午後七時より總督總監晩餐會臨席▲十五日午前十時南大門發歸東の豫定

有吉總監移轉

有吉政務總監は十二日朝鮮ホテルを引拂ひ府内西小門町二十四番地官舍（元松永外事課長官舍）に移轉せり

早大記念事業講演

早稻田大學校友會は十四日午後二時半より長谷川町公會堂に於て故大隈侯の遺業を紀念せんが爲め同大學の記念事業宣傳大講演會を開催す講演者は今回内地より來城せる松平康國、阿部賢一兩教授及先輩校友等にして一般の來聽を歡迎すと尚翌十五日午後六時より京城ホテルに於て校友大會を開催する由なるが左記の歡迎會（會費金五圓）を催さる希望校友の出席を期待する由なるが通知漏れの方は朝鮮銀行落合氏まで申し込まれたしと

川越書記官動靜

外務省書記官川越茂氏は國友警務課長と同伴十一日午後四時南大門發列車にて[illegible]十二日朝[illegible]

辭令

今回左の通り任命ありたり（十二日朝鮮總督府）

總督府事務官　川崎末五郎
兼任總督府警察官講習所教授

敍高等官五等
總督府醫院醫官　朝鮮總督府
京城醫學專門學校助教授　稻田博

任總督府道技師
敍高等官七等
金剛南道在勤を命ず
總督府典獄　土居寛申

兼任總督府事務官
敍高等官五等
法務局勤務を命ず
朝鮮公立高等女學校教諭　齋藤美禾

任朝鮮公立高等女學校教諭
敍高等官八等
補釜山公立高等女學校教諭
朝鮮公立實業學校教諭　紀孫治

任朝鮮公立實業學校教諭
敍高等官七等
補釜山鎭公立商業學校教諭
總督府郡守　李文夏

依願免本官（以上十一日附）
總督府視學官　高橋亨
同　重田勘次郎

小學校及普通學校教員試驗委員を命ず
田中廣吉

小學校及普通學校教員試驗委員を免ず
遞信技師　飯倉文甫

普通試驗委員を命ず（以上十二日）

人事消息

▲今西龍氏（文學博士）十一日夜入城不知火旅館へ

▲荒木健之助氏（殖銀忠州支店長）同上

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）咸興及元山に出張中十一日夜歸城

▲今村巫務官（總督府專賣局）十四日午後歸城の豫定

▲久保天隨氏（文學士）十二日朝上陸十時北行（釜山電報）

▲荒井初太郎氏（土木協會々長）十二日夜歸城

▲井上清氏（咸北内務部長）十二日朝内地より入城朝尾旅館へ

▲吉村謙一郎氏（遞信局電氣課長）元山に於て開催の電氣協會へ臨席の爲め十一日夜出發元山へ出張

▲嘉納德三郎氏（鮮銀副總裁）十二日午後七時十分發東上

八月十四日（月曜）▼舊六月廿三日▲甲寅▲七赤▲暗劍西方▲先負▲心▲一白▲[illegible]

▲九紫▲他人に知らせのと起り易く[illegible]的な成り難し新事は悉く見合せて利[illegible]

▼四緑▲盛運にて愉快な日[illegible]求職婚姻其他女子の獨立を圖つて妙

決定　京城府[illegible]
京城地方法院

懸賞詞藻券集　續赤壁遊　麗水鍾山詩社白

玩具投賣　替金處分之爲　七圓也　秋山商店

しんぞう病　日輪寺別院

鯨　尾羽毛　專業問屋　平井成一商店

京日案内

古本　株券　恩給　工場　貸家　女中入用　入用　簿記　賣家　貸家　女子

足袋　つちやたび　本社　久留米　支店　大阪・東京

満洲の柞蠶
本社安東支局調査
繭より荷造り迄

工場の製品の割合は各工場又は同一の工場であつても毎日多少の相違あることは免れぬ、茲には單に其の概略を示したに過ぎない、換言すれば一つの工場が其製品の何割を正確に何處に三國製とするかと云ふことである、之等の工場の繰付であると云ふ繰絲から其の工場の繰付である、斯くの如くにして繰絲を終つた繰絲は繰絲の鑑定によつて等級をつけ之を撚絲に渡さるゝ撚絲は綛を通ぬる役であつて、綛を重ね二締と稱する長さ四尺、四寸幅位の柱の如き綛又は綱綛の錘を付けたるものに繰絲の一端を掛け地繰取ちに繰て左の手にて直徑一寸位、長さ七八寸の棒を通して左の手にて繰絲の指の手にて綛の地繰の絲を擦り右手に綛綱を入回

乃至十二回 に應じて繰り繰をかけ之を二つに折つて所要の形に捻繰するのである、之を正しく相互一個宛向きとなし括繰中に並べ其の數を一括として東をなし繰を打ち込んで綛繰せしめ茶色の木綿絲を以て結束する、一繰は又一柵とも稱する、之を日本斤百斤位立とし一繰には二十括又は二十二繰より成るのであるから一括は五斤となる譯である、一括が幾繰から成立するかは繰の錘目が一定して居ない爲めに不明であるけれど凡そ七十繰より

八十五六綛 の間を上下して居ると云ふ事である。包裝用の縦け藍選紙を以て内外共に充分に張り詰め、之を豚の血にて繋着した後外部より麻紙の幾入する事を除く爲めの形である。

一、大枠絲 舊式の一型の枠に糸をかけ繰るからこの名稱がある
二、小枠絲 新式の小枠に糸を繰るからこの名稱がある
三、大挽手 繭の外殼より繰つた絲の名稱である
四、二挽手 繭の内皮より製絲した絲の名稱である
五、多綿絲 繭の内面の屑より取つた絲の名である
六、多繭絲 蛹の脱出した秋の出殼繭より取つた絲の名である
七、春繭絲 蛹の脱出した春の出殼繭より製造した絲である

右の内第六の多繭絲は繰枠の大小によつて大工絲、小工絲と區別する事もある。

前記七種 の用途は下の如きものに使用せらるゝ即ち第一種第二種の絲は他の五種の絲に比べて優良の絲であつて、日本は之を満洲より輸入して織絲交織物、卓子掛ひ窓掛け等に使用するが、就中第二種の絲は歐米共とも北米向の織絲として福井、岐阜の兩方に製織せらるゝ、第三種、第四種の絲は精巧なる織物を織るに適しない爲めに下等の織物及び、敷物等の製造に使用せらるゝ事がある、次にデニールに就て記せば安東に於ける繰絲は

七粒繰り が多いようで一粒平均デニールと見れば大差ないと云ふことであるデニールの決定は普通肉眼鑑定で爲さるる處であつて普通肉眼鑑定であるから、實際機械檢査の如く精密なる纖度を鑑定する事は不可能である、而し一般の満洲製絲工場では肉眼鑑定に信頼して少しも疑はぬものである

満洲の柞蠶絲に就て記述すべき事はまだ澤山あるけれども限りある新聞紙上に於ては餘り冗長に亙るから一應本稿は之を以て一段落とする、近年柞蠶絲の漂白、染色の方法は非常に巧妙となつて、毛斯に劣らぬ位ひ鮮麗の友禪などが出來且つ日常日本人の着用する綿布の中には多數の柞蠶絲が生絲と交織せられて居る事は著しい事實である（終り）

予が觀たる朝鮮民族
文學博士　椎尾辨匡師談

宗教大學教授椎尾文學博士は八日夜行にて來安市場通二丁目石崎久三郎氏邸に滯在九日安東佛教青年會及安東寺主催にかゝる最後の二回の講演會に長廣舌を振ひたるが朝鮮人觀に就て左の如く語る（安東縣）

予は去月二十三日釜山上陸以來、釜山、大田、群山、元山、鎭南浦、海州其他の各地に於て講演會を試みると同時に多數の內鮮人有力者と會見したが頭下

鮮人思想界 の片鱗を窺ふ事が出來得た事を懐ぶ、實は三箇年前の萬歳騷ぎの當時一度朝鮮を視察した事があつたが、三箇年前と今日と比ぶれば一般朝鮮人の智識慾は顕著なるものであつて殊に少年の勃興は驚くべき事であると思ふ、最近の一例を擧ぐれば先年満洲に聞いた事實と今日の事實とを照合して見て殆ど今昔の感に堪えないものがある、夫れは満洲のある敎堺が當時

内地の爲政者 から其の子女を普通學校に入學せしめよとの勧告があつたに對し當時は其の必要を認めないけれども表面上又は經理上之を拒絶する事が出來なかつた爲めに其の子女の身代りとして他人を入學せしめたと云ふ事を聞いたが今日其の事實は時世の進運に目覺め來り其の親戚故舊の反對あるにも拘らず自ら進んで其の一人の息子は東京に他の一人の息子は京城、一人の女子は某女學校に入學せしめたと云ふ事である、斯くの如く

時勢に覺醒 して來たことはこの朝鮮のみに限らず上下一般の傾向と見る事が出來る、由來朝鮮人は亞細亞人種の中でも一番理智的で其の向上の見込みのあるものであつて我が日本人に於ける明治十年前後の新智識に渇望する素質を具備して居る、今日予の見る處の朝鮮人の智能程度は恰も明治十年前後の幼稚と相似した處がある、朝鮮民族が今日の如く凡ての方面に於て發達し得ざる所以のものは決して鮮人民族の血液が不良であるからでなく、東洋系に見るの

立派な血液 が流れて居るが、唯其の發達に至つた所以のものは一は大陸即ち支那強國の壓迫と李朝五百年の政治に苦しめられて退化したのであるけれども、歴史上其他に於ける文化の光輝を見ても如何に鮮人民族が優良なる國民であるかが判る、今日の智識慾を助長し向上心の勃興に繼續したならば今日の少年は他日最も優秀なる國民となる事は出來る、人或は

向學心勃興 に顧みて他日歸つて獨立運動其他の不穩を醸るものはこの少年子弟であるとなすものがあるけれども是は進歩に入る關門である徵候であつて見れば遠し避くべからざる過程の一と覺悟せねばならぬ、要するにこの可憐なる民族を善導せんとすれば向學心智識慾を滿足せしめ是を文化に誘導しあらゆる光明の世界に導くことが第一義であると思ふ次に

朝鮮佛教徒 の現在及び將來に對しての意見を叩けば鮮人僧侶は概して內地に遊學して相當の新智識を求めつゝあるものは約四十名ある而し鮮人の青年僧侶をして朝鮮文化に貢獻其他社會萬般の爲めに有利に有效に使用し得るの時期は甚だ前途遼遠であると謂はねばならぬ、何故ならば數百年の因習、即ち階級制度に囚はれて居るからである、朝鮮の僧侶は今日猶ほ賤民として遇せられて居る、今茲に覺醒的の青年佛教徒を出し之を

朝鮮の社會 に送つても鮮人民族は佛教徒の前に跪拜するものは恐らくあるまい、若い佛教徒は必ずやつて見せる實行せずには措かぬと云ふけれども時間は未だ長いものと覺悟せねばならぬ、社會的の改造、文化の進展、其の他に鮮人を善導せんとするなどは寧ろ賤視せられて居る佛教僧侶を用ふるよりも寧ろ相當の位階地位を有する

儒生を感化 善導するの勝れるに如くまいと考へる、要するに朝鮮民族は東洋人種に見る有望有爲の血液を享有して居る民族であるから之を文化に誘導し又は社會百般の方面に誘掖善導する事は我々先進國民の責任であらねばならぬ云々

満洲守備軍撤退
大反對の狼火擧る
満鐵沿線當局に肉薄せんとす

【安東縣】安東縣有志青年實業家を中堅とする自成會は去る八日料理店由良之助に於て例會を開き目下満洲の一大問題となり居れる守備軍撤退大反對の問題に關し協議する處ありしが何れも本問題は

在満邦人の 死活大問題にして且朝鮮政策を根本より覆すものなりとなり徹頭徹尾反對運動の氣勢を擧ぐべく差し當り委員として左の各項を決議として附議する處あり

一、秋井隆一、楢原頼一、花房俊一、木島村の五氏を委員に擧げ着々其運動の步を進めつゝあるが去る十日は前記五名の委員は領事館に富田領事を訪問し撤兵問題の事茲に至りし經過を聽取し引揚げ更に安東市中の各團體たる安東新聞記者團、公友會、木曜會、商業會議所等に

檄を飛ばし 賛成を求むる處ありしが更に十一日午後七時より自成會は勿論前記各團體の代表者に集合を乞ひ軍備に伴ひ満洲守備撤兵反對運動の實行方法に付協議したり

一、守備軍撤兵反對運動の爲市民大會を開催するの件及び其時日
一、宣言書理由書作製に關する件
一、實行委員數名を選拔して實行運動に當らしむる件

市民大會を 開き決議した要領は之を內閣總理、外務、陸軍、大藏、拓殖の各省局及び參謀本部關東廳滿鐵社長等に對し反對意見の電報をなし且滿鐵沿線各地の各都市に向つても極力反對運動に共同一致の步調を執るよう宣傳をなすべしと

京城から元山へ
夏の夜の元山港
殘月生

五時過ぎに例の西田君が誘つて與れた。三榮君と一緒に宿を出て先づ水產品評會を一覽する。京城では大分詰らぬ樣な評判も耳にしたが、實際を見るとソンナに詰らない物ではない。內地で屡々催さるる品評會の出品に比較すれば勿論ブウアな感じはするが、成南一道の水產品の展覽會だとすると、其出品の豐富なるに驚くのである。日々の縱覽者の入場も稍め一週間位は一人十錢の入場料が三百圓に上つたといふから少くも毎日三千人はあつた筈である。此外に招待の所謂無料の人々や、協贊會員の如き無料の人々も少くないので、內端に見ても四千人はあつたらしい。開會期日の三分の二を經過した今日でも入場者は可なりに多い。先づザット計算して毎日二千人を下らない。經費豫算一萬八千圓で當撰者には五千圓を與へることになつてゐる。之が爲めに大分人氣をそつた樣子である。既に六本は賞籤が與ずみであるが殘りの二本に人氣はまだ中々盛んであつた。漁撈の側に網で圍つた池を設けて生きた魚類の生活を觀覽に供したのは思ひ付きである。鰻は底深く潛んでゐて能くは見られぬがそれでも魚の種類によると、淺い所や水底近くを泳ぎ廻るのもあつて小兒や婦人が人垣を築いてゐる。殊に夜になると電燈で水底まで照すので大小の魚族が否や應なしに姿を現すのである。帽が二つもあらうといふ大鰻が數枚黑穗を擢つてゐるやうな格好に泳いでゐるのが衆目を集めてゐた。

協贊會からの招待は船中で催さる筈になつてゐるもう時刻だといつて七時に其船に乗り込む。同窓子の酒が大抵揃つたのに三四人の遲參者がある。一人の懇口居がスッパ抜きらしく盛んに其人々の行動を吹聽して何時まで待つても來はしないから早く船を出せとヲメイてゐる。酒の揃ふ揃はぬに拘らず驛序の都合が揃はぬ。其内に懇口居の酒席は漸くに裏切られて本物の酒が次第々々に揃つて來る。仕度も出來て八時頃に二丁櫓で漕いで出る。折から月も上る元山港內は行事の海開きの船も賑はされて花火を開始する。風は涼風を孕つて船端の提灯は續き續きに火災を起す。船外には月影涼しく船內は處々に賑なりといふ頗る風流の光景である。協贊會長の挨拶、振縷朝新君の謝辭よろしくあつて、賑やかな場面が滅破燈かぬ永興灣內に出現する。煙花は威勢よく響いて空中に燦々たる星斗を揚げ、滿艦提燈を飾つた數十艘の海開きの式艦が行列して灣內を縱橫に乘り廻す。朝鮮咸鏡の一角の麗やかな夏の一夜が醸出されて氣分とは何處を吹く風ぞといつた調子である。夜間の入場者が非常に多く八千名を超過して經費も賄ふに至つた。全鮮記者團觀會に付いて我儕の元山港口の帶は未すも無なことであつたが、藤田氏、協贊會等の厚意で土產物まで戴いて一同の記憶は一層深くなつた。

普通學校費
戸別割實施さる

【平壤】平壤公立普通學校費戸別割は本年度より施行されたが其賦課等級は府民負擔に依れば納税者約一萬人負擔額三萬八千五百圓で一人當り平均三圓十錢餘を示してゐる。之を內地人の小學校敎育費の負擔と比較するに內地人は納税者約三千八百人負擔額は約九萬六千三百圓で一人當りの平均は二十五圓以上に及んでゐる。

聯省自治と吉黑

【奉天】張作霖氏の聯省自治聲明に對し奉天省は兎も角も吉黑兩省方面では近來反對氣勢を擧げてる模樣である、彼の天圖輕鐵問題を始めとし吉兩省の市街鐵道並に取引所問題等あり排他の氣勢が擧がり日に北に下するに從ひ其の理由は張氏の聯省自治が實際に行はるゝものなれば又行ふの誠意が張氏にあらば吉林及び黑龍の問題が奉天に於て疎通さるべき筈のものではない、これを何ぞや奉天に於て行ふ、張氏は聯省自治に對して聲明を裏切り實行する誠意ないものと見ねばならぬ、

振威田畓被害

【平澤】今回大洪水氾濫の爲め振威郡に於ける耕地被害高を聞くに畓に於ては總面積一萬四千四百十五町五反の內無被害地九千二百三町一反即ち六割五分五厘にして被害地は三割減千二百十二町一反、五割減千四百五十九町四反、七割減千七十八町步、收穫皆無地千百九十三町にして之を收穫計算するときは總面積に對し二割一分の減少を來す譯なるが、此內被害最も激甚なりしは西面、松炭、北面等にして西井里及鳥山等に隣接する部落にして平澤に集注する區域の被害は僅に一割位なるも現在の水稻は天候順調の爲め生育も頗る良好にして優に三割增收すべき見込なるを以て結局差引二割の增收を豫想し鮮人農家は豐作を唱へてゐる、田に於ては總面積六千六百五十三町の內無被害地四千三百五十七町五反、三割減四百五十四町三反、五割減五百三十町三反、七割減四百八十五町一反、皆無地八百五十四町三反即ち平均二割三分八厘の減となる、而して平澤附近は水害地の瞭にして耕地の被害は極めて輕微にして目下の處最も激甚なるは鳥山附近にして今回の大洪水中心地點なるが如し

満鮮時報讓渡

【安東縣】一時問題となりたる満鮮時報の經營者堺井恭三男氏は今般失敗の結果財政整理の爲め同社の權利一切は満洲日々新聞安東支局長中村英雄氏に讓渡したり依つて同紙は豫定の如く續刊、中村英雄氏の經營となるべし

駐奉現役隊撤退

【奉天】現在滿洲駐屯第十五師團獨立守備隊の內一個大隊は現駐隊として昨年來奉天に駐屯して居たが既報の如く來る十五日奉天撤退大連から鐵嶺松へ向け歸還する、是が爲め奉天の邦人は目下の處問題とされてる獨立守備隊の撤退だけとなる譯である。

京南鐵道開通

【天安】京南鐵道は去る二十八日より出水の爲め交通杜絶中の處今度の結果十一日より天安、溫陽間の運轉を行ふに至れり

木浦最初の米檢

【木浦】白米檢查實施以來木浦米穀檢查所で初めて受檢せしは去る九日で其の內譯は二斗袋入三百の二百入、二斗袋入二百の內入は特等に合格し叺袋入其他は優良であつたが糙米の二等となつた併し大體に於て檢查としては優良な成績であると檢查當局者は言つて居た

安東縣驛改築不可能

【安東縣】現在の安東驛舍は數年來建築に係り狹隘其他の事情から早晩改築の必要に迫られつゝあり數年前より改築の議ある事は周知の事實であるが本年度の豫算に計上して本社に稟請しある由なるも今般鐵道部運輸課長の來安により其の口吻に徴すれば本年度の改築は先づ十中八九までは不可能なるべしとの事なりしと

奉天より

▲近來盛んに張作霖氏の再戰說が傳へられてる、時節柄あり得べき事として首肯される點がないでもない、あの強情張りの張氏が若し其の爲に見事に敗れた吳佩孚氏の鼻柱を挫かうとするは正に千秋の恨事とするも張氏が力瘤を入れるも確に於ては同情すべき點もある譯である。

▲而し時勢は進展して張氏の儘に任せない、況んや殊更に東三省に蟠踞して居ると云ふ處で其の位を負うて喞ゆる奉天の一戰は決して捨てたものでない、今張氏が基を築せずして將來を期せんとするのは目下の張氏は其の四圍の事情から見る點に於て多大の差異があるので乍ら一戰以後に於て奉天に在る張氏と昔日の張氏を以て一概に論ずる事は出來ぬと思はれる。

▲最近チャイナプレースの記者が張氏と會見した時にも張氏は再戰の意志ある事を否認したと云ふ事である、吾人は寧ろ張氏が實際に世界の大勢に鑑みて支那は統一すべきもので又張氏の最後の目的と思ひたいのである、吾人は張氏の態度を變化し推移しつゝある國際政局の大勢に向つて進みつゝある事を證するか否かに見たならば張氏の眞意を諒解する所あらうかと思ふ。吾人は張氏の一擧一動に注意せざるを得ぬ。

▲張氏の高唱する東洋の平和、殊に日本人の聲明は吾人大和民族も亦大に高唱し又未然に防止すべく努力せねばならぬ重大問題である、而して現在東洋の覇者を以て任じて居る日本としては其の責任の一層重大なるものあるを知つて居なければならぬのである、が此大問題が張氏に代りて高唱され又張氏の統一により解決さるべき斯かる容易なる問題ではない、要は實力である隱忍自重である、此の點に於ては張氏も日本も全く大差はない、吾人は此の際特に張氏の自重を希つて已まないものである

柴田學務局長

平安北道視察中の柴田學務局長は平北道敎育會の開催の爲め十日朝來新義州に至り同夜歸城（新義州）

大島大佐榮轉

第二守備隊長步兵中佐大島正次郎氏は今回大佐に昇進し羅南聯隊司令官に榮轉と內定した氏は羅南聯隊から轉じた人で人格者として戰術家として令名あり新義州府では特に盛大なる送別會を催す事となつてゐる尚後任者は十五日頃發表の筈（新義州）

石橋署長兼二浦へ

【奉天】奉天警務署長として令名のあつた石橋正光氏は今回依願免官となつたが後任には營口署長であつた光氏が來任する事となつた、石橋氏は朝鮮製鐵警務局長丸山氏の勸誘で二浦の巡長に擬せられてゐるから近日中には兼二浦に向け出發する豫定であると

天安驛長更迭

京釜線天安驛長佐藤宗雄氏は鳥致院に轉任後任には龍山驛助役西濱貞藏氏なりと（天安）

後任は近藤氏か

安東居留民團役所の書記長中川富義氏辭任後の書記長は同役所會計課長西水要氏之を代理し居りしも後任未定なるを以て各方面より自薦他薦の候補者四五名ある由なるが民團規則施行細則も早晩改正せらるゝ事となるべきを以て夫れ迄現狀を維持すべしとなすものあり或は現庶務課長近藤二郎氏は相當の經驗手腕を有する人なれば此際好んで他より書記長を推薦せんよりも寧ろ近藤氏を書記長に昇格せしむるが至當なりと云ふもの頗る有力なるが如し（安東縣）

大田面協補選期日

【大田】大田面協議會員四名の補缺選擧は八月二十日擧行の事に決定したるが未だ各區とも候補者の顏觸れ決せず平穩なるが或は先頭擊存の組合委員選擧の如く定員の立候補に止まるにあらずやとの說あり

新義州校同窓會

新義州小學校卒業者を以て組織する新義州校同窓會は來る十三日午前十時より母校に於て開催する由（新義州）

安東校同窓會

安東小學校卒業生を以て組織し毎年夏期一回總會を開催し來りたる安東同窓會は十三日民團病院の權禮館にて例會を催す由（安東縣）

國境外人通過數

本年七月中新義州の國境を通過した米英露三國人の總計を見るに入國の部で米國人五十一人英國人十二人露國人百七十九人計二百四十二人で內鮮行が百六十六人神戸行が十八人東京行が十六人京城行が十五人出國者は米國人二十九人英國人八人露國人五十五人計百十五人內北京行十四人ハルビン行七十二人奉天行十三人大連行四人である、此を昨年同月の入國三百三十人出國三百十一人に比すと可成の減少を示し居るが一月よりの累計入國二千六百四十名出國千六百廿名は決して昨年に比して遜色なく更に之を職業別とすると宣敎師が一番多く次ぎが商人、銀行會社員、敎師の順序である（新義州）

地方人事

▲西脇營林廠事務官　十二日午前十一時廿二分著列車にて著任（新義州）
▲村井宰氏（新任平北税務課長）八日入新直ちに義州、九龍浦、龍岩浦等の事務視察をなし十二日一先づ引返し三日滯在の上碧潼方面へ（新義州）
▲鈴木學藏（新義州署長）事務打合せ並に防疫等の用件にて十一日夜入京二三日滯在の上歸新（新義州）

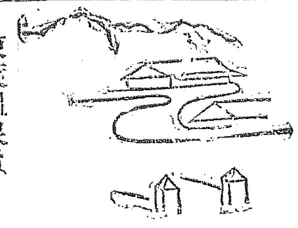
若い男女は

必ず心得置かねばならぬ事であり乍ら、何人も知れず悩む方は此「男女生殖器圖解全書」さへ

相愛の秘訣

男女繪草紙進呈

東京府下大森町八七四　精誠堂　振替東京一六三六〇



東萊溫泉は　朝鮮唯一の靈泉

蓬萊館は　客室完全貸間あり

釜山から　自動車卅分　電車一時間

文房具、測量器械、寫眞機械、和洋紙、帳簿、運動用具、樂器
平壤府大和町　分川橋樂浪堂　電話三四一番　振替口座京城二〇一一番

あくそう病

家傳の丸藥にて如何なる難病も全治す　御照會あれ
仁川　吉木醬油釀造場

滋養良劑　活力素

病める人は……回復に
無病の人は……強壯に
老衰の人は……元氣旺盛に

坪井博士發見

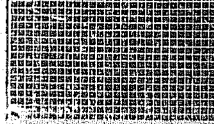
恐るゝに足らず!!!

それは活力素に依て人體になくてならぬプラズマを補給し身體の組織を根柢から改造した人の自信ある言葉です……

三〇瓦入（約一ケ月分）壹圓八拾錢　內地送料拾貳錢
二二五瓦　拾貳圓　內地送料廿七錢
四五〇瓦　貳拾參圓　內地送料卅六錢

東京市京橋區五郎兵衛町五番地　活力商會
電話京橋一五九九番　一八九五番　振替口座東京二三〇八六

高級化粧料　ゼニワ石鹸



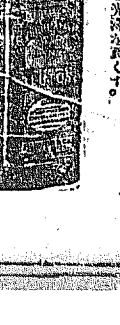
大阪　東亞化學研究所

產後榮養に卓効ある

醫學博士　實驗御推奬

正しき補血強壯增進劑

キナプルトーゼ



說明書進呈

補血強壯劑中の白眉として醫學諸大家の推奬を蒙りつゝあるプルトーゼに創製のキナアルコロイドを抱合せしめたる佳味芳香の液體にして人體肝臟中に含まるゝ鐵蛋白質と同一の性狀を有し吸收同化容易にして赤血球を增加し新陳代謝を旺盛ならしむるを以て本劑服用後は著しく食慾を增進し體重を增加し精力を旺盛ならしめ皮膚の光澤を添へしむ。

適應症
神經衰弱、ヒステリー、食慾不振、重病恢復期、妊娠榮養、產後衰弱、妊婦神經病、授乳婦

○大瓶五百グラム入　小瓶二百五十グラム入　◎各地藥房にて販賣せり

發賣元　藤澤樟腦本舖　藤澤友吉商店
大阪市道修町　京城府西小門通　名古屋本町　東京本町

夏と婦人

酷暑と闘ひつゝ五十人の大家族を切廻してゆく苦勞

京城で二十七回の夏を迎へた 京城商業會議所會頭夫人 釘本すが子さん

◇京城商業會議所會頭釘本藤次郎氏夫人すが子さんが京城の人となられたのは二十七年前の明治もまだ三十九年の七月であつた、當時すが子夫人は二十四歳の若夫人であつたので、人生の半以上を京城で過ごされた譯であります。

◇住み慣れた本町三丁目釘本商店の奥座敷ですが子夫人は『隨分お暑いぢやありませんか』といひつゝ其の二十貫といふ肥滿した體躯を重さうに椅子にもたれて語られる『朝鮮の夏もザッと三十度近くも經驗しましたが肥つたものには冬には些程に苦勞もありませんが、この夏越しが年を通じての一番の難事です、殊に有形、無形共御餘裕のおありの方は彼地此地と涼を求められて夏の暑さも知らずにお過ごしにでもなれましようが、私共の樣な斯んな商賣人は、店の者ばかりでも三十人以上もあり家の者を合して五十人足らずの人數なので、暇な方ばかりでも一通りでなく手傳ひの者はおりますが、前方には假令一人を遣り使つてゐますので、毎日三度の食事を調へます事は一仕事で、其の上主人も東奔外出が多く留守の間は矢張り商用上代理も致さなくてはなりませんから、官吏の御家庭の樣に少しも落ち付いた氣分がなく一日を何うして過ごしてきたやら、たゞ忙しくて過ぎてしまひ勝だ避暑だなんてそんな呑氣な事は、私共には夢でもなく思つた事もなければ隨つて行つた事もありません。

◇たゞ七年前から子供達の學校の休みを利用して故里への展墓、親戚への禮節を濟める爲めに八月に母子して郷里佐賀に行く事を例に致してゐますが、今年は二人の子供共學校側からして元山の方へ海水浴に行きましたので郷里への展墓も見合せ、相變らず此の家で此のまゝ盛ります、

◇樂みといつても和樂など聞く事はきらひではありませんが夏の暑さに戀げ凝い私には夕方になつて湯浴みどもして、團扇片手に涼みするのが、何よりもの樂しみです』

夏は音樂の季節（上）

萬斛の涼味を覺える代表作曲 メンデルゾーンの『眞夏の夜の夢』

石川義一

夏は四季の内で一番音樂的に恍惚な時だと思ひます。夏は納涼とか涼風、涼水と申しまする身體の休息の方に快樂が主となり、此れに反して冬は身體の運動の方面に快樂を取る樣になつて居ると云ふ。又夏と水とは離れることの出來ない關係にあります。水と音樂とは共に性質がよく似て居ります。故に古來から名曲と云はれて居る曲の十中の八九までは皆水に關係して居ります。從つて音樂と夏とは離るゝことの出來得ない或る關係をもつて居ります。

夏に就ての音樂の内で最も有名なるは、メンデルゾーンの『眞夏の夜の夢』であります、此曲はオペラのオバチアー（序奏曲）でありますがオペラの歌はありません。オバチアーのみの序奏曲カンサート、オバチアーと申します。勿論歌ふのではなく全然樂器ばかりで奏します、メンデルゾーンが十七八歳の時の作曲ではあるが彼れの全作品中で最も彼の個性を發揮して居ると稱せられて居ります。

此曲は彼女のダンス曲から始まつて居ります、薄き衣を纏へる幾多の彼女が淸き涼しき小川の邊りにて踊り狂ひ淸水の上を吹いて來る涼風は彼女の薄き衣を飜し、時々緩徐に、緩やかに踊り狂へる樣は眼に見える樣であります、次には恐ろしき雷雨となり電光閃々として大雨の聞に人をして恐れしむる、彼女の姿は何時しか消え、雷雨が歇み時は天地は晴れ渡つて一點の雲影もなく涼風は何處よりともなく吹き來ると共に滿月は東天に昇りつゝある。

滿月より女神は手に〳〵白き絹を持ち蝶の如く翩々として下界に降り來らむとして居る、時ら宮中ダンスの有樣、此れ等月の女神は時經つと共に何時しか月に歸る、世は再び靜かにして萬物皆な眠れる如く、音樂は次第〳〵に緩やかに靜かに、消えゆき終に全く消ゆる、

此れが『眞夏の夜の夢』の概略であります、音樂の情味を筆に表はすことは不可能である、音樂は直接に精神を序べ文章は智識を介して精神の幾分かを序べる音樂は眞の月を眺めて居るのに文章は鏡を通して眺めて居る

奈良漬 誰でも上手に出來る 漬方の秘訣

奈良漬の漬方は種々ありますが中でも家庭用として最も上手に出來るものを一種紹介します 四斗樽一挺に附き酒粕七十斤、瓜六十斤、瓜は白瓜が適してゐますが、先づ朝鮮の樣に瓜の多い處は何瓜でも差支なく家庭用としては小形物がよろしい

◇瓜を買つたら外の仕事は後廻しにして軟かくならない中、早速竪二つに割り中實を二錢銅貨の樣なもので綺麗に掻き取り（瓜に傷附けぬ樣）全部掻き取り終つたれば瓜を空向けに並べ置き中へ鹽を充分に詰め總れ假に一合箸に入るとすれば四分の一位

◇其の上にすぐ漬樽を充分に詰め總れば今度は樽底に粕を三分の厚さ位に塗り附け、而して瓜を空向けて並べ其上から粕を隈なく至る處充分に詰めさせ、斯樣にして段々と漬上げ最後に粕の上に日本紙を一枚被せ蓋をして至る處目張りし密閉し置くと廿日後は食料に供するのですが

◇其の頃はまだ鹽辛いので瓜の甘くなるのは二ケ月後、瓜を取出した後は風の入らぬ樣注意しなければ駄目で それには目張りした蓋の上に鍵にて二寸位の穴をあけ取出したら直に其切取した板を木槌で位置をなして置くと大丈夫であります

エステル注射によつて癩病は全癒する

小鹿島療養所から 最近二名の患者が全快退院

總督府醫院では院長志賀博士指導の下に癩病の特効藥たる大楓子油からエステルを抽出して小鹿島の療養所に送り古來不治の天刑病として苦んで居る患者に注射治療をして居る事は既に當時報道した通りで、同療法を施行した米國布哇の實績は全治六七割にも達する好成績を收めて居る、小鹿島での結果は何うであるか專門家と云はず同患者であるなしに拘らず人間として早く知りたい處であつた、記者は一日志賀博士を總督府醫院に訪れて結果を尋ねたが何分小鹿島に收容して居る患者は非……全南光山郡斗南面仁東里崔炳瑛（二七）の兩人は大正六年中に收容されたものであるがエステルの注射に依つて全治者として退院を許され生きながらの墓場から現世に蘇る事が出來た本人や同僚は勿論一般人間界の自然に對する征伏勝利として祝福すべき事である

京城日報懸賞當選小說『半島の自然と人間』を書き上ぐるまでの私の苦み（上）

富士澤けい子

應募の動機

昨年の九月良人が呼吸器病を病んで職を離れなければならなくなつた時私達はどんなに心細く悲しかつた事でせうか。無産者で俸給生活をしてゐる私共は百圓とまとまつた金すらもつて居りませんでした。其の時私ははしみじみと感じました。『日本の女なんて家庭にしつかりしがみついてゐて一見いかにも位置がたしからしく見えるが、一旦良人が職でも離れると、社會に應用のきくやうな手腕をなにも一つてゐないから、良人もろとも根こそぎに貧乏の谷底へおとし入れられてしまふ。安心さうに見えてみて我國日本の女の位置ほど不安定なものはありはしない』と痛感いたしました。そして病氣の良人に代はつて、たゞちに一家をさゝへるべく社會の競爭場裡に走れぬ自分を、どんなに、歯がゆく思つたとでせうか、自分の無資格がつくづくなげかれました。

◇

恰度其時に京城日報の小説募集廣告を見たのでした。そしてふと書いてみやうかと思ひ立つたのでした。『よし今機會に日頃の自負をためして見やう』とひそかに胸をたゝきました、が、何しろ、良人は病氣なり、二歳と四歳の子供をかゝえて筆をとる暇なんかどうしてありませう、子供の眠いた暇をねらつては一枚でも二枚でもかきました。書き初めた當時は寒くなつて、どうも良人の病氣によくないので正月を迎へるとすぐに長崎縣島原の方へ移轉しなくちやなりませんでした。さて島原へ行くやはいつても思はしい家がないものだから、二十日たらずの内に三四度移轉しました。その時は紛然落々をかはつたりして、なか〳〵筆をとる暇なんかありません。とても駄目だと幾度筆をなげだした事でせう。が世間の文學者なんかは書く時に苦心するのに、私は書く時間を作る爲にのみ血のでるやうな慘憺たる苦心を致しました。書きたい書きたいと燒きつくやうに思つても十分間の時間もない時、私は、はがゆさもどかしさに身ぶるひをいたしました。そして其時は試驗にあつてさへ涙ましく思つたほどでした。

◇

いつも私はさうなんですが、書いて居る間は恐ろしく自信があるのですが書き上げると同時に自信は煙のやうに消えてしまつて『あんな物』とだん〳〵悲しくなつてくるのですがこんどもその通りでした。書いてゐる間中はなか〳〵いいやうに思はれたのが書き上げて送り出してしまうと、だん〳〵思ひ返しばかしが思ひだされ、それに假名遣の上に、はつきりした誤謬などもあつて、送ることを諦めていましたのが、思ひがけなく入選の報に接して一旦は喜びました、したがあんな物が日々の新聞紙上に麗々しく掲げられるのかと思ふと、冷汗が流れるやうな思ひがいたします。

避雷線に觸れて即死

會社ではソンナ突迦な事はないと云ふ 解剖の結果矢張り感電と判明

釜山府草梁町三二一番地河永葉方借家業吉澤歌生（二七）は十日午後九時頃草梁町停留所附近の電柱の避雷線に觸れ即死し同時附近にて二三の感電負傷者を出したが右の事實につき瓦電會社では萬一感電したとしても僅か百ボルトの電力に過ぎないから之が爲め死に至るが如きあり得べからざる事であると主張して居るので之が立證を試むべく十一日午前十時より釜山地方法院よりは新山司法主任及大平部長等現場に臨檢し朱術醫師の執刀にて死體の解剖をなしたる結果感電の爲め死亡せし事が判明したが電線の劃線から避雷線に流電し之れが爲め人命を失ふ樣な事は珍しいとの事である（釜山）

落雷死傷八名

德島縣三好郡加茂村地方は九日午後大雷雨あり五時三十分同村諸山信之助方へ落雷居合せたる同郡三野村千葉兵次郎（二七）は即死し其の他重輕傷者七名の多數を出したり尚他地方にも被害がある（德島電報）

龍山でも贋造紙幣が發見された

十一日午前十時頃龍山金融組合員が窓口より鮮銀朝鮮銀行一圓紙幣一枚を發見し取調べの結果同日錦町李仁煥が預金中のものと判明し龍山署に報告したが該僞造札は一見普通のものより色合薄く紙質不良なるもので頗る精巧を極めて表面番號に〇八三九一四となり左方に七〇〇の數字があり常に使用來つた形跡あり近時京仁間に僞造紙幣續々發見せらるゝ一般に注意を要する

大同江增水 倒壞十六戸

平壤の浸水家屋二百戸

既電の如く平壤大同江は十一日に至り益々增水し午前二時には二丈四尺八寸午前九時には二丈五尺七寸に達し爲に下水の行き場なく府町公設市場附近、南九里等忽ちにして浸水床上を浸せるあり、又大同江岸の浸水戸數も十日より著しく增加し之に府町南九里を加へたる浸水家屋は實に二百七戸の多きに達し床上に浸水せるもの六十九、倒壞家屋十六戸を算したるも流失には至らず午前十二時には二丈五尺四寸午後四時には二丈五尺浸水家屋百三十九戸に減じ漸次減水に向つたが被害者は炊出しを能はず實に慘憺たるものあり。警察方法としては消防自動車を用ゐ四時間に亙る炊出しをなし警察官は十日來一睡もせず疲勞も意とせず晝夜に活動を續けてゐる十一日夜は鉛色の雲間から青い月光が洩れて浸水の後を照らしてゐたが其の慘狀は心無き人にも涙を催さしめる。

郡部の被害甚し 成川邑には流失家屋あり

郡部にありては平壤元山線麥田は大同江の增水三丈二尺八寸に及び麥田より江東邑方面約一里の道路は悉く浸水し目下危險狀態にあり附近の鐵道線路は冠水し一時不通となつた。安州郡にありては新安州清川江增水し安州邑内に浸水家屋四百戸を出し交通全く杜絶せり新安州より平北江界に至る南川橋は九日流失し熙川院橋又流失し寧邊里里价川間道路は价川江增水の爲十數町決潰した旨來電あり成川郡は沸流江增水の爲め十一日八時半には一丈六尺八寸成川邑の浸水家屋百四十戸倒壞十三戸流失四戸を出し順川郡は十日の增水二丈四尺倉里方面浸水し順川附近の交通も亦杜絶し德川郡は十日の雨量約五千町德川邑内の交通杜絶したが十一日に至り順川德川は減水の喜び來り順川郡は十一日の午前十時には一丈七尺に德川郡は十一日の午前九時には一丈三尺に減水した旨入電があつた（平壤）

列車不通

鴨綠江も氾濫

數日前來引續きの豪雨に平北一帶の諸川增水し鴨綠江は二十四尺も增水した事とて附近の田地に氾濫し京義線開川、雲安間（平南）は堤防破壞の爲め線路遮斷され約二十時間不通、爲めに十日夜行より運轉中止し乘客は其の間步行連絡を執りつゝあり滿鐵から工夫現場に急行目下鋭意回復に努めつゝあるが數時間は減水を見ねば容易に復舊なかるべく引續き汽車は同所で貨物乘客を交換して引返す筈で多少の運轉は免れまいと（新義州）

親と子が三十三年振に對面

『御所櫻』のような奇しき縁

大阪市西區北堀江上通り三ノ二九〇平山方錦島タカ（五〇）は元久留米市聯隊町高瀬藤次郎（?）の庶子で藤次郎が今から三十五年前大阪で商賣を始めて居た時常盤津の師匠と關係が出來て生れたのがタカで藤次郎は間もなく事業に失敗し果て親子離れをした限り消息無く其の後母は死したタカは郷里で藝妓から稼いで居たが父戀しさに絶へず母を頼りに聞いた事のある職工を介して聞いて見たが不明の爲め久留米市役所に父の在所を尋ね取調べて貰つた結果、藤次郎は東京市本所區錦町に住んで居る事が判り近く親子三十三年振で對面する事となつた（大阪電報）

女子高普同窓會

女子高普の第三回卒業生等が相議して組織されて居る女子高普同窓會では來る十五日午後一時より母校なる慶雲洞の女子高普の校舍講堂に於て第三回の總會を開き、會則一部の變更、各員の紹介其の他將來の事業についての相談をなすと

傳ネムさん又訴へらる

無暗に石炭を掘るとて二萬圓の損害賠償

福岡縣遠賀郡長津村李佐七は同地株式會社大正鑛業所長傳右衛門氏を相手取り二萬二千圓餘の損害賠償要求訴訟を地方裁判所小倉支部に提起した其の理由は大正鑛業所が住宅の地下や道路の下其他の地下を無斷に石炭を掘り取るため地表が陷落し居住困難となつたと云ふので裁判所では結局調停として擴張審理する方針であると（小倉電報）

脫走水兵が穴居して夜盜

舞鶴要港部海兵團所屬一等水兵小島吉次（二一）は去六月三日歸營の命を迎へて脫營したので搜索中京都府加佐郡倉梯村の民家から一里を離れた山頂の岩窟内に隱れて夜になると新舞鶴町に出て竊盜をつゞけて居たのを新舞鶴署で探知し警官隊を組織して山を包圍し格鬪の末漸く逮捕したが岩窟内は寢床と座敷を別に備へビールサイダー、ビスケット等の贓品山積しあり豪奢三昧に耽つて居たものだと（新舞鶴電報）

女房を女郎に賣り飛ばす

愛媛縣生れ住所不定川又雄四郎（三五）は內妻の女房松本ハマ（二三）と共に本年四月末平壤に來り府內久留米の某所有家屋に居住中各所より物品飲食物を騙取したる上龍山の記ハマを平壤遊廓永樂樓の娼妓に賣飛ばさんとしたるも果さず、あらゆる惡事を遂行したる上大邱に高飛びしハマを千二百圓に賣り飛ばし全部遊興に費消したが其の筋に探知され平壤署で取調べの上檢事局に身柄を送致（平壤）

亂暴な警部

高知縣警務課勤務警部佐田高樹（三三）は高知市京橋料理店時に登り仲居を脅かし其後を追うて客室に入り其の客を茶碗で毆打して問題となつて居る（高知電報）

◇手の長い牛肉屋

新義州初音町牛肉販賣業荘根衛健（三三）は十日午後二時頃自宅附近に牛車を曳きが數人寄り合つて話して居る中密かに古城面龍川洞牛車輓金炳錫の牛（時價百三十圓）を盜み取らんと手綱を切斷し引きたる處發見され新義州署で取調べを受けて居る（新義州）

お寺と教會

▲西本願寺 十三日午前九時日曜學校（お盆の御禮其他）午後八時講話『宗教は何ぞや』（藤原惠淨師）▲日本基督教會 同日午前十時『生命の價値』（渡邊鶴氏）午後八時『平和の源泉』高橋慶太郎氏

觀相 運命開拓の福音……

西相家 泰龍子師來る 明治町二丁目公設市場前 小川旅館内

○同師によらず來つて質せ ○一人別に懇切丁寧なる鑑定す ▲愈々八月十六日限り

此好機を以て自己將來の安全を期せよ

釜山 朝鮮船渠工業株式會社製品 ◎亞鉛引平浪板 特價販賣

釜山府京町十四番地 大池輪入部

（多少に不拘御用命願上候）

賣家廣告

一 壽町編組建坪約壹百四坪内 瓦葺二階立七十九坪 亞鉛葺平家貳拾五坪

一 同附屬建家（元雄野住宅）總建坪約參拾壹坪内 瓦葺二階立拾七坪 同瓦葺平家十四坪 亞鉛葺平家五十六坪 瓦葺平家四坪

一 同附屬建家（壽館トナリ）總建坪約六拾坪内

右三廉一纏ニテ來ル拾四日午前十一時入札ヲ以テ賣却ス御希望ノ御方ハ現場御一覽ノ上御入札被下度現場ハ十三日迄ニ御越シ被下候ヘバ御案内申上候 價格ハ最高ヲ以テ落札者トス落札者ハ手付金トシテ即時金高十ノ分ノ一ヲ申受ク入札ノ際御相談申上候

京城府 中村梅吉

御儀式と御宴會 御淸遊と食道樂 ちほ祢 京城本町一丁目 電話本局一七六番

毛深き方は

人の毛なれば五分間で取る藥 除分の毛が取れ美しき肌となる

剃れば五分間で剃刀でそつた跡より濃くなり手足も毛が無くなる 是非一度本藥を見いやらない漬手でも次第に最新發見 東京淀橋柏木 池田はな子

一躍 葡萄酒界最高の賞を授與されたり之れ品質の優秀なるを確證せられたると同時に平素御引立の賜なり益々向上改善を期し此名譽と期待さに背かざらん事を誓ひます

純良甘味白葡萄酒 トミホワイトポート

東京 日本ブドウ酒株式會社 代理店 大阪 小西商店洋酒部 特約店 京城 辻井商店 各地有名な藥店和洋酒食料品店にあり

來る八月十六日より 南大門咸興間 寢臺車連結

北行 南大門發後一〇、五〇 元山着前六、三五 咸興著前一一、五〇

南行 咸興發後五、三五 元山發後一一、〇〇 南大門著前六、四五

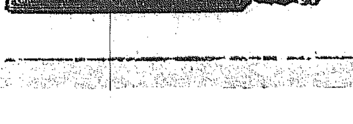
寢臺使用料二等一臺に付 上段三圓 下段四圓五十錢

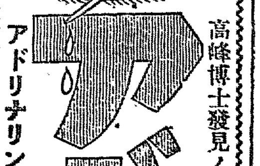
南滿洲鐵道株式會社

ベルベット石鹸

炎天に驟雨！ 夕顏棚の一浴に ベルベット石鹸。

アオゾラ石鹸 ビー・ジー・ア 工業用石鹸 製造元 日本リーバーブラザース株式會社 神戸





高峰博士發見ノ眼科靈藥 アドリナリンを主藥とす アドラ

定價 廿錢、卅錢、五拾錢 （各藥店ニアリ）

東京麹町 參昌製藥株式會社

殺人囚看守を刺殺す

横濱生糸相場

炎暑中に働くにも拘らす 食物も充分呉れぬと

大阪控訴院で殺人未遂として懲役二年に處せられ服役中の[illegible]は十一日朝八時頃運搬の[illegible]を負はせた（大阪電）

荷物係の奇禍 手首を切る

府大門驛の荷物係[illegible]は列車より飛び降り線路に轢れ手首に重傷を負ひセブランス病院に擔ぎ込み遂に手首を切斷するに至った

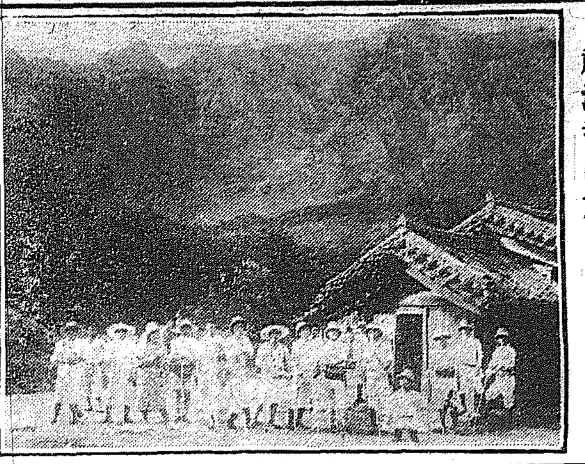
阿片を密賣す

府内太平通り二の五〇番地洋服職工[illegible]【新義州】

守備隊に銃砲廻送

[illegible]取調べ中である[illegible]第三守備隊に銃砲廻送[illegible]十一日午後大邱出張して來り其使用法教授中であるが右の内拳銃は[illegible]山中險惡な場所は解體出來ぬとして[illegible]に使用するもので内地人家庭にも未だ備付けぬ處多[illegible]

神勒寺に於ける一行



當日二十日は 絶好の海水浴日

午後零時から三時まで

本社主催仁川海水浴團前記

本社主催仁川海水浴團は萬端の準備が整つて愈十四日から會員券を發賣する運びになりました、廿日（當日）は午後一時から漸次滿潮して午後二時半が滿潮の絶頂で午後四時頃までは充分海水浴が出來ます、炎熱燃くる時萬斛の涼を運んで來る海濤に一日を清遊する感興は恐らく想ひ半に過ぎるものがある、

車中の餘興 福引券配布

當日の大體を申し上げると午前八時三十分本社特別の列車に搭乘した團員は約一時間列車の人となる、車中の無聊を慰める爲めに、車中で福引を催します、そして福引は[illegible]で福引券をお手許へ差上げて何が當つたかは一寸お預りして歸りの車中で景品と引換えます、九時五十五分列車は仁川驛に着きます。仁川驛構内を出て左に約八丁あまりこれまでは船で行つて非常に困りましたが今度いよ〳〵多年の懸案であつた築堤（約一哩半）が竣成した爲め兩方から來る海風に双つの袖をたぶらせながら婦人も小供も老婆の方も樂々と月尾島へ渡れます、

松林で寶探し 一本も空なし

島に渡いてから午前十一時頃から松林の中で寶探しをやります、賞品は蓄音機、腕時計、皮鞄、大トランク、反物其他一つも空籤はありません、寶探しが濟んで各自晝の食事を濟ま[illegible]れてから午後零時頃から海に這入ります、水中では果物流し海戰で子供相撲、水泳競爭、ボート競爭などの餘興を催します、そして一日の清遊を終へた歸路は午後四時三十分仁川發

賣店値段統一

昨年の經驗で本年から當日の月尾島の賣店の賣價を全部統一しました、標準値段は左の通り、

キリンビール六十五錢▲サクラビール六十錢▲サイダー二十五錢▲辨當上等一圓並等五十錢、[illegible]七十錢▲氷類二十五錢以下其他パン類も準備してあります

仁川海水浴團（團員募集）

期日　八月二十日（午前八時三〇分南大門驛出發 午後四時四三分歸京）

會場　仁川月尾島

餘興　福引（列車中）果物流し、子供相撲、水泳競爭、ボートレース

會員券　大人金一圓　小人五十錢

發賣所　本社受付　本町二　太平通二　本町　漢江通　[illegible]

歸休兵で賑ふは龍山局

お土産買ひの兵隊さん そろ〳〵動き出す除隊氣分

除隊も後二日になつて泣くも笑ふも四十八時間後には用ある者殘る者歸つたり殘られたりする一聯の[illegible]が各部隊で[illegible]十三名で既に歸休となるは野砲隊の百十三名を除く外は全部二年兵である[illegible]他の部隊も特務隊は三年兵を筆頭に入選がせられてある模樣で步兵科の者はまだ誰とも見當が附かないと云つて居る、十二日は早朝來野砲隊の歸休せられる兵隊さんが龍山郵便局に押すな〳〵と詰め掛けて[illegible]貯金したのを引出すやら國への送金方を頼むやら時ならぬ雜沓を呈して居た今回の歸休兵にも[illegible]の支給をする相であるが步兵科には十二日までには未だ土產物が渡らない多分十三日の日曜か十四日早朝であらうそして今回の除隊兵の多くはまだ國元へ通知せずに居ります[illegible]も又殘る者も土產物を買つて當日を待つて居ると一兵隊さんが語つた又一方龍山[illegible]の各商店でも例年十一月の樣な土產物の注文はありませんが多分十四日以後でせうと歸休兵の土產物にはあまり氣を求めて居らん樣子である

全國中堅の青年 金剛山講習會

流汗鍛錬同胞相愛の實行 總督發會式へ臨場せん

朝鮮教育會京城支部主催で各地方に於ける中堅青年を[illegible]流汗鍛錬同胞相愛の二大主義の下に[illegible]向上に努力すべき更生の一新紀元を作[illegible]

野村銀行員 株屋と結托し百萬圓を貸出す

石井の樣な手段で籠絡す

大阪野村銀行（資本金一千萬圓拂込）[illegible]東京支店の當座預金係[illegible]明治[illegible]であるが此事は[illegible]大阪本店より熊本氏出張一切を處理して居る、石渡は石井の樣な手段で預金係を籠絡し[illegible]を賄つて融通を受けて居たが大阪本店でも株式不振にて回收不能の貸附多く幹部も心配[illegible]

盛り場に 掏摸多し

當局警戒す

近時府内の盛り場電車内の混雜に紛れ込んで掏摸を働き[illegible]被害者が頻出するので其の筋では絶えず之が犯人逮捕に腐心して居る矢先十[illegible]

東京市外の支那人 盛に風紀衛生を紊す

不景氣で商賣なく賭博に耽る

府下南千住署管内に巣をつくつて居る[illegible]支那人多數は不景氣の爲めに商賣に無く苦しまぎれに風紀衛生を紊して居た爲めに[illegible]支那人の中八十六名を檢擧し取調べの[illegible]一日午後五時管内居住支那人[illegible]を命じた（東京電報）

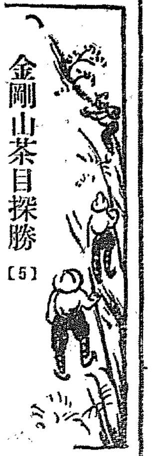
進行中の列車から鮮人飛降る

北海道人夫になつて行く途中 急に怖氣ついて逃ぐ

十日午後三時頃上野驛發青森行三百九十九列車が[illegible]進行中三等乘客一名が飛降りたので直に[illegible]取調べの結果朝鮮人[illegible]北海道行人夫募集に應じ北海道へ行く途中急に怖氣づき監督者の目をかすめ逃走を企てたものであつて本人は少しも負傷しなかつた（東京電報）

海の幸（仁川月尾島海水浴場）

金剛山茶目探勝【5】 秋草が亂れ咲く



山路を分けて愈々山に入る 夏の最中に秋の情調

春秋が一緒

驟れば三日、愈九龍淵の探勝に向ふのである、曉方に部屋の中から吹き飛ばされさうな大山颪が吹いたので夢を破られ、京城では午砲の響を聞かねば起きられぬといふ連中が五時にはもう目を覺して登山の準備に取懸る、前の流れで漱いで朝飯を濟ますと頼んで置いた案内者と人夫が來る、午前七時男は皆シャツに草鞋脚絆、お縫の方は筒袖の浴衣に同じく草鞋脚絆といふ服裝で手に〳〵金剛杖を突きながら宿を出る、桔梗、女郎花などの秋草が露を浴びて亂れ咲く山路を登つて行くと何處からともなく蟲の鳴く音が聞えて來る、夏の最中に春と秋の情趣が一緒に味へるなどは恐らく金剛山でなければ見られぬ圖であらう

本當に極樂

神溪寺の手前に可成嶮しい峠があるが峠上へ辿りつくと下から吹き上げて來る風が何とも云へぬ程涼しい、「あゝ好い氣持だねえ、本當に極樂だ」と云へば「此所は極樂峠と云ひます」と案内者「此の風、ドうかして京城に持つて歸れんか」「魔法瓶に詰めたらドウや」

珍妙な藝當

など〳〵と云ふ下らぬ問答も出る、此の峠から神溪寺までは松林を一下り、神溪寺の和尚さんは愛嬌が好いと蜜で作つた菓子で御馳走すると云ふ話だつたが一行が訪問した時は御機嫌斜めだつたせいか、蜜のへの字も出さなかつた、誰やらが和尚さんに朝鮮語で『忘れ物はないか』と訊いたら『ない』と云つたとかで大笑ひになる、松葉を常食にして佛像を彫つて居ると云ふ禪師はもう此寺には居らなかつた、蜂蜜には有り付けず人にも會へず非常に失望したが然し神溪寺の境内から[illegible]の眺望を買ふに充分であつた

普光庵から次第に嶮谷になる、所々飛石傳ひに溪流を渉らねばならぬ箇所がある殊にあつても失ればちかゝつた丸木橋で一步踏み外せば危險千萬、ザンブリ陸ち込まうと云ふのだから井上（光）君、尾崎君、川井君、石津君、松本君などは此の丸木橋の上で四ツ這ひの藝當を演じた相である、進むに從つて峽谷は益々奇を加へ[illegible]を極めて來て險惡な箇所に[illegible]臨いて居る、德富蘇峰氏の仰げば萬崖悉く奇峰壁立萬千仞、而して其の虚隙、蒼松亂立して圓蓋をなし、俯せば玉の如き碧水、或は大飛瀑となり、或は急湍となり、水石相戰うて、各々其の特色を發揮すと云ふ一文が想ひ出された、足許は險しくなつて來る（可朝坊）

横領犯人 京城から逃亡

公金拐帶の

北海道[illegible]郡[illegible]村收入役[illegible]は本年一月頃より公金二千八百餘圓を費消した外七月中旬頃公金[illegible]圓を横領拐帶し何處へか行方を晦ましたので[illegible]極力犯人搜索中の處去る二十三日自宅宛無名にて京城の消印ある端書が舞ひ込んだ爲め府内各署に取調べ方の手配りがあつた

侠客決鬪

地割の事から 未然に取押へる

十日夕京阪[illegible]から天滿市[illegible]が西成郡[illegible]自動車に分乘手に〳〵日本刀等を携へ[illegible]非常線を張つて警戒したが彼等は巧に警戒線を突破し西成九條通り[illegible]に立寄つたのを九條署で捕縛し[illegible]地割の事から當日夜[illegible]で決鬪するため[illegible]一派が先發したものである（大阪電報）

女生徒溺死事件

校長以下辭表

文部省[illegible]が臨海教授視察の際來縣した[illegible]高松高等女學校一年生[illegible]が[illegible]海岸で溺死した事件は學校側に責任ありとして問題になつて居たが十日古田學校長の外[illegible]田中、三河、松本、松原の各教諭は辭表を出した（高松電報）

瀆職署長

豫審決定

不日公判に附せらる[illegible]署長[illegible]贈賄被告[illegible]の三名の豫審は十日終結決定し瀆職被告事件の公判に附せられたが其の期日は未定である（[illegible]電報）

殺人巡查 公判開廷

懲役五年求刑

[illegible]に係る傷害致死被告事件の公判は十二日午前九時より京城地方法院第七號廷で野村裁判長澤木檢事立會の上開廷された被告は[illegible]訊問に入り被告は極力犯意を否認したが立會檢事は懲役五年を求刑し木尾辯護士の辯論があつて閉廷來る十七日判決言渡の筈

住友男

起訴されず

大阪東區北濱五丁目合資會社長男住友吉右衛門氏が本年二月二十二日警視廳保安部で銃砲火藥取締法違反の廉で送致され當地裁判所に移管して來た事件は不起訴となつた（大阪電報）

鮮人の水死體

入道橋に漂着

十一日午後七時頃漢江入道橋上手に漂着せる[illegible]推定年齡四十歳位の鮮人男の水死體で何等の手掛りがない

本社庭球コート開き

立錐の餘地もない盛況

十二日午後一時から本社新設コートのコート開きを行ふことは既報の如くであつたが參加チームは非常に多數に上り殆ど京城庭球大會の觀を呈した。時間の都合で是等チームの中から優勝者を定めることにする計劃もあるが先づ一回戰に入り漸次參加者並びに應援者の數を增し非常なる盛況で參觀者は見物席に溢れ[illegible]和氣靄々の裡に試合は進行してゐる。（午後三時）

地方庭球大會

京日コート

朝鮮體育協會主催第二回地方庭球大會は既報の通り本日午前九時半より貞洞本社新設コートに於て開催

櫻溪軍敗る

總督府内櫻溪庭球俱樂部對朝鮮銀行庭球部の對抗試合は十日午後四時半より鮮銀コートで擧行せられた本試合はドロンゲームとなり第二回戰にて第一回は櫻溪軍にとつて復讎戰にて此の第三回戰は實に興味ある試合にて殊に櫻溪軍は盛にオール仁川軍を屠り京城の諸強チームに連戰連勝し破竹の勢を以て逆襲し來りしも遂に鮮銀の爲めに再び敗られたスコーア左の如し

記者團快捷す

對現物軍野球戰

記者團對現物取引所野球戰が十一日午後四時から訓練院グラウンドで開かれた現物軍は編成以來日淺きも[illegible]猛者揃ひの[illegible]二勝の記録を持つてゐるので[illegible]以來陣形其他に整理を加へ大分強味も加はつて來たので當日の試合は殆ど問題にならず七回ゲームを以て二十三アルブヤー對[illegible]で記者團の大捷に歸した。因みに記者團當日の殊勳者は松村遊擊手の本壘打二本諸岡投手のコントロール等で現物は全く打擊を封ぜられ記者團は連打強擊を以つて此の結果を見たのである

[illegible]

高知銀行取調

高知商業銀行の取調べは略終了し事件は更に進展を見つゝあり（大阪電報）

五百人乘の定期航空船

米國セントジイラとベノスアイレス間に五百人乘航空船を建造し定期航空路を開始する計畫がある（倫敦電報）

臨海教育終る

[illegible]尋常五年生以上の男女兒童約百七十名は[illegible]臨海教育を受けに往つて居たが[illegible]

至急電話抽籤

本年度新設電話は二十四個に決定し[illegible]申請者三十二名に對し[illegible]

寄附電話架設

本年度寄附電話申込數二十三個の内[illegible]工事に着手せらるべし[illegible]

東幕に虎列拉

實は腸カタル

十一日午後七時龍山警察署管内東幕[illegible]の鮮人女（五十歳位）が俄に猛烈な吐瀉を催したので[illegible]虎列拉と[illegible]龍山署に急報したので[illegible]腸カタルと判明し一同やれ〳〵と安心して引揚げた

高賀氏嚴父逝く

本社[illegible]高賀直雄氏嚴父は豫て病氣中の處十一日逝去せり

懇親舟遊會

遞信局[illegible]及び各新聞社記者團は各[illegible]課長其他と共に十二日午後三時より漢江に舟を泛べて懇親會を催した

天氣豫報（十三日）

曇（一時晴）

十二日最高　三二、一　八九、八

十二日正午　三〇、二　八六、四

體質改造劑の横綱 精力素

これを常に用ふれば如何なる病弱者も強健となる

全國藥店にあり 一日僅に四錢

雜誌「無病強健號」進呈

發賣元 東京芝公園 國民體力改造同志會

小賣改善の先驅 生活改善の近道

安心してお買物をなさるには―

御買物上手の方は何時も朝鮮キュポン加盟店で御買物をいたします

是非これから朝鮮キュポンの看板目標に御用命の程切に御願いいたします

朝鮮 キュポン 加盟店

此の看板の掲げてある店は良い品を安く賣る信用ある店の目標です……そしてお買上の品には拾錢毎に美しいキュポン券（景品引換）を呈上します

朝鮮キュポン社 景品陳列場

景品引換所 京城本町二丁目 電本局三〇七七番

品の良いうへ便利で廉い 買物し乍ら貯蓄か出來る

洋品雜貨 本町壹丁目 鈴木京城支店
履物商 本町壹丁目 宮崎履物店
珍物名産 高等果物 本町貳丁目 桑原支店
萬年筆 金庫 本町貳丁目 ハイン商工株式會社
洋服商 本町貳丁目 吉田洋服店
漆器商 本町貳丁目 岩本京城支店
帶地雜貨袋物 本町貳丁目 井村商店
和洋雜貨 本町貳丁目 鶴田屋商店
靴製造 本町貳丁目 大塚靴店
自轉車業 本町貳丁目 山崎商店
實業銀行前菓子商 本町二丁目 沖本錦洋堂
精肉商 本町參丁目 源平精肉店
酒類油業 本町參丁目 田中支店
玩具文具商 大和町一丁目 片山商店
酒類油商 本町四丁目 石川屋酒店
陶器商 本町四丁目 福岡商店
履物商 本町四丁目 小柳商店
教育玩具 本町四丁目 東京堂
酒類醬油販賣 本町五丁目 丸富商店
萬年筆商 本町四丁目 常行萬年社
薪炭商 若草町 關商店薪炭部
洋服商 永樂町二丁目 奥田洋服店
履物商 櫻井町二丁目 越後屋履物店
化粧品雜貨商 黃金町二丁目 渡邊天命堂
自轉車商 黃金町二丁目 每熊自轉車商會
清酒の花 黃金町二丁目 朝鮮酒造會社出張所
履物商 永樂町二丁目 ㊣岡本履物店
同 明治町二丁目 ㊣履物支店
同 永樂町二丁目 松島屋
食料雜貨 明治町二丁目 竹内商店
酒類醬油 明治町二丁目 關西商會
西洋料理 黃金町壹丁目 カフエーアシヤカ
建築家具 南大門通五丁目 大原商店
夜具ふとん 南米倉町 戸倉秀之助商店
和洋酒菓子罐詰 龍山漢江通十三番地 長野嘉市商店
食料雜貨薪炭石炭 龍山漢江通り十三番地 松屋商店
吳服商 龍山元町 富井吳服店
履物商 龍山元町貳丁目 紅葉屋

雜貨商 龍山元町 大和屋洋品店
菓子商 龍山元町二丁目 衛生堂製菓所
菓子商 龍山元町二丁目 松屋商店
メリヤス和洋雜貨商 鍾路二丁目 澤商會
カステーラ和洋菓子商 鍾路一丁目 原田商店
時計商 鍾路一丁目 赤帽子時計店
洋靴製造販賣 鍾路四丁目一〇六 崔慶植
玩具菓子商 東大門市場內 韓之福商店
洋靴製造 鍾路二丁目七 義昌商會 主金在義
メリヤス和洋雜貨類 鍾路二丁目八 廣昌商店
貿易商 堅志洞一〇三 廣業商店
洋靴製造業 鍾路三丁目八 廣信洋靴店
同 南大門通り一丁目 崔昌植洋靴店
洋靴 寬勳洞一六九 朴德裕洋靴店
陶磁器漆器商 南大門通一丁目一七 廣潤本店
同 鍾路一丁目六九 同支店
陶器商 鍾路四丁目二九 海陸ゴム商會
陶器商 鍾路三丁目五九 羅龍植商店
[illegible] 堅志洞三七 漢城藥舘
帽子業 鍾路二丁目 新羅商會
洋靴製造 寬勳洞四〇 春秀洋靴店
和洋雜貨商 鍾路二丁目七五 三英商會
紙物商 黃金町二丁目一二三 金應瑭商店
ゴム靴ゴム製品一式 鍾路一丁目七五 三共商會
和洋雜貨總代 鍾路一丁目七一 天源商店
洋靴製造 仁寺洞一三四 德昌洋靴店
洋靴製造 鍾路二丁目二五 東洋製靴所
食料雜貨 [illegible]昌洞 金德柱商店

本町廉賣所
玄米堂　德永食料品雜貨部
德永絹友仙店　柴田食糧雜貨店
中山荒物店　三芳商店雜貨部
橫谷漬物店　マツ屋精肉店
大正クラッカ小賣部 中廣天青物店　青柳青物店
江口鮮魚店　竹林鮮魚物店

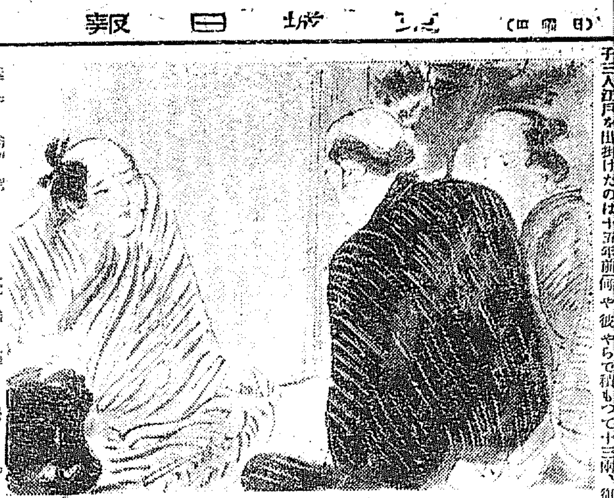
安中草三郎

第六十三回

猫遊軒伯知講演

老人の昔話

草『此方達は江戸の何處にお居でなさいました』『江戸かえ、俺アえ藤岡の藤屋新三郎屋物兵衛といふて、米屋で藏の二つもあり、米搗人も大勢使つて置いたが、何うも若い內は了簡の定まらないもので、ヤレ遊んな不味物は喰はれねえの、こんな無器用な着物は着られねえと贅澤を云つて居たが、遂に身代が傾き果て朝が立つての、不圖したことから相場に手を出し、僅にヤア思ひ掛けない儲け物をして、湯水のやうに金を遣ふこともあつたが、到頭地面家藏まで皆人手に取られて江戸にも居られなくなつたので、以前店に使つて居た米搗の信州の元山に居る者、其所を便りに七つになる倅を連れて親子三人江戸を出掛けたのは十五年前の事、馴れぬ旅路の辛さをシミ〴〵と身に感じながら漸う此先の松井田の宿で藤岡屋といふ旅籠屋へ泊つた處が、其晩から瘧病が起つてのイヤどうも苦しんだの苦しまんのと云つて何共お話しにならぬ位、嬶婆さんあの時は此方のものぢやアあるめえと思つて心配したつけの』『婆ホンにマア、あの時は醫者よ藥よと何の位に介抱をしたか知れないけれど、病氣は日増しに悪くなる許り、一月餘ばかり旅籠屋に逗留して居る內に、小遣ひは遣ひ果たし宿賃は溜る、私アあんな困つたことはなかつたよ』『爺何分にも旅籠を立つ事もならず着物を殘らず賣拂つたが二束三文で幾らにもならず、裸體で道中がなるものかと云ふ譬の通り迚も信州へ親子三人が裸體で行かれもせず、困り切つた所から寧そ一思ひに碓氷の川へ身を投げて死なうかと覺悟を定め、連れ添うた此婆さんも共に身投げを決心しました、すると七歳に成る頑是なき倅が阿父さん阿母さん、坊が今に大きくなると米屋へ奉公をしてお給金を溜て樂をさせるから死んでお與れでないよと、[illegible]の袂を押へて泣かれた時に身やを切られるより辛かつた、無心な子供が夫婆に云ふものを、其手を振拂つて死ぬ際にも行かず、何うしようかと思案に暮れた其時の事を思ひ出すと我等今でも腑甲斐なく思ふ、なア婆さん』『爺ホンに、あの事を思ひ出すと身の毛が戰慄ちますよ』『爺御分にも子供の心に引かされて身を投げる事もならず、只々夫婦で泣いて居ると、隣座敷の襖を明けて出て來なすつたお方は妙義山の三妙院の別當樣で、樣子を聞いて居たものと見えてお前達は幾ら金があれば此處を立てるかと御親切なるお尋ね、此時は旅籠錢も安くなつたがハイ茶代やら何や彼やらで積もつて十三兩、御覽の通りの姿で十三兩はサテ置いて親子三人裸體になつても三兩の工面も出來ませんといふとそんなら俺が十三兩の金を遣る、其の代り倅を俺に與れぬかと斯う云ふ話しだつた、一人の可愛い倅なれど死ぬより増しと愚痴を極めて、遣らうと思ふとこゝに居る婆どんが不承知を云ひ出しての、誠に困つたが外に腹は代へられぬ故、思ひ切つて十三兩の金を貰つて倅を渡し、其金で旅籠を拂ひ、少し許りの殘金を持つて宿を出たが、信州へ行くだけの路銀もなし、無論江戸へは歸られず、一人の倅は金のため人手に渡り途方に暮れて居る所へ……『草成程』『爺ツイ此先の安中宿の島屋孝兵衛といふ旅籠屋の主人で、此人は元江戸へ來た時に少し許り世話をした事がある男だが、思ひ掛けもなく此男に出逢ひ、ヤア藤兵衛さん何でお前さんはそんな見窄らしい姿をして此處へ來なすつたと、斯う云はれた時は顔から火が出るやうだつたが、實は斯う云々と委しく話しをすると、それなら兎も角も俺の家へ來なさいと云はれた時にやア、どの位嬉しかつたか知れなかつた、婆アさん』



木戸齒科醫院　京城永樂町二ノ三四

有効確實にして賞讃を博せる
マラリア特効丸
販賣所 京城府[illegible]二ノ八八　各地藥店にあり
本舖 林藥房

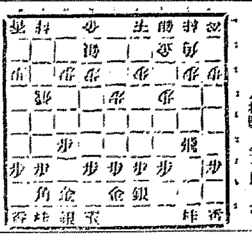
將棋新手合（一）

於千葉縣稻毛海岸清遊亭

平手 後手△六段 宮松關三郎（東京）
先▲五段 金子金五郎（東京）

『圖は五四迄の局面』

△持駒 金子氏 歩



△七六歩▲八四歩△二六歩▲八五歩△二五歩△三二金△二四歩▲同歩△同飛△二三歩△二六飛▲八六歩△同歩▲同飛△七八金▲八四飛（イ）△八三歩▲三四歩△四八銀▲六二銀△六九玉▲四一玉△五八金▲五四歩△六六銀▲五二金（ロ）△三六歩▲七四歩△五七銀△五三銀（以下次號）

溝呂木七段講評

△（イ）八四飛と引くよりは此場合寄が角道が明てなき故八二飛と引く方面白し

△（ロ）五二金は面白からず此處七四歩三六歩五二銀五七銀六四銀と指す方優れり

玩具卸問屋
京城本町一丁目
電話二六九八番
大正琴特約店　織田東洋館
振替京城二五六七番

中學校に行かせる者で高等學校程度の學校に行く者は中學卒業の檢定試驗に及第した者るものとあるも今日中學四年修業にて入學出來る樣ですが檢定試驗も四年修了程度ですか又試驗期日は何時ですか（受驗希望生）△檢定試驗は中學五年卒業程度です期日は當局で必要に應じ募集廣告を出す事もあるが普通自己の希望する中學校に申込むと當該學校長は必要と認めた場合は教諭に申請し試驗を行ふのです（係）△寄人社の京城支部長は增山樣との事ですがお宅はどこでせう（一愛讀者）△內地にて買入れたる讃美歌を朝鮮に移入するには何等の關税がかかりますか（お爺生）△內地製又は外國輸入品でも已に輸入手續の濟んだのは賦價の一割です（係）△雜誌の創刊を集めました雜誌を發刊して與れる出版屋なきや（スヱ生）△保險狂氏へ御尋ねの件は創刊の信用に關する事項公表を憚ります若し必要ならば醫藥興信所へでも御照會なさい（係）△市內にて永續的に寫譜をして下さる方なきや但し素人にても習得に出來る事です（本局三九七八番ケー生）△エスエム生に至急面談したし來館あれ（本町二京城製しらぎ屋）△私はいま入のため獨身になつて或所に女中奉公してゐますが主人が嫌癖で困ります十何誰か理解ある家庭に雇つて戴けませんでせうか（廿六才の女）△初音館のお園女氏へお尋ねの件は何時頃何處に勤めてゐたか夫れが分らぬと取調べに困ります（係）

關釜連絡船

釜山發 午前六、[illegible] 午後八、[illegible]

十三日 朝、對馬丸 夕、新羅丸
十四日 朝、京畿丸 夕、高麗丸
十五日 朝、對馬丸 夕、新羅丸

[illegible]

仁川 金波

痔疾專門
京城久枝肛門病院
入院隨意
京城明治町一ノ三三　電話本局二〇一〇番（病院用）　三七二番（自宅用）

TUYOL
治淋新藥
ツヨール
下山 慶松 朝比奈 田中 若川 各博士 臨床 實驗 檢定
殺菌力的確 利尿顯著 副作用絶無
本品の新藥的價値は陸軍藥局方參照
五十粒 百粒 二百粒 [illegible] 文獻進呈
製造元 東京 株式會社ツヨール商會
製劑場 市外南品川
發賣元 大阪伏見町 日本藥品洋行

何故、夏瘠するか

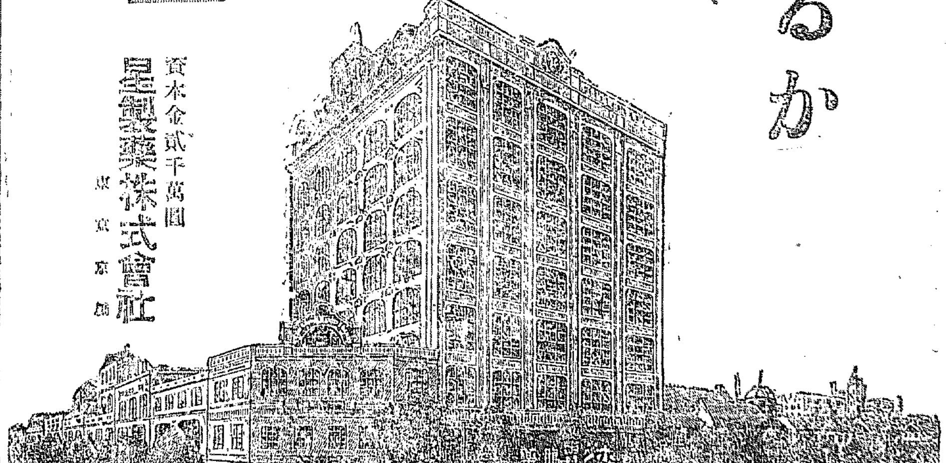
一 夏瘠の原因にも色々ありますが、重なる一つは何も喰べたく無くなるからで、所謂營養の不足から來る爲めであります。

二 それが原因でズット消化不良になり、「尤も中胃腸が弱い弱いと言たれる人が多い。」

三 夏瘠せする人は是非ホシ胃腸藥をお服みなさい、何んでも甘味しく喰べられるのみか、胃がメキ〳〵丈夫になり、その上不思議な位、通じが良くなります。

ホシ胃腸藥

資本金貳千萬圓
星製藥株式會社
東京京橋



…消防隊にて保前班、伊勢町及各係車【木浦】

米檢手數料決定す 全鮮檢査の白米檢査手數料以上のものは二錢以て…

狂犬豫防接種 安東縣には…を有するものは遲なく接種を受けさ…

米價前途

樂觀を許さず

全鮮に於ける最近米作狀況を聞くに何處に於ても多少は稻作遲延の憾あるを免れざる模樣なるに加へて其の後天候現角雨含み勝にて範圍は極めて少部分なるも既に浮塵子の發生を見たる個所も全鮮を通じて數ヶ所に達したり、京畿道内にては未だ幸に浮塵子の發生は見ざるも湖川地方其の他に夜盜蟲の害を聞ける場所もあり若し此儘天候が順當に續くものとせば浮塵子の發生する場所も少からざるべく何れにせよ本年の作柄は決して樂觀し難き形勢なるが一方米價を内地米と比較せば八月の最大の開き九百丁に達したるに本年は昨今漸く九十丁乃至百丁に過ぎず且内地米は豐作見込にて尙多少の低落を見る趨勢なれば本年の鮮米の前途は稍安心すべきものありと某消息通は語れり

滿洲米輸出解禁されん

滿洲米輸出禁止中奉天に於ける米穀は支那官憲の調査する處によれば約四十萬石なるが日本總領事館の希望を容れ服從米穀輸出禁止を解除すべき意向あり即ち四十萬の内三分の一を解除し其の殘りは北京に於て處分する意向にて照料即ち輸出税として米一擔に付大洋一元五十錢を徴收したしとの要求に對し日本官憲は更に四十萬石の内二十萬石を解禁する事は北京に於て供給せず奉天に於て供給する事、輸照料は一擔に付大洋一元五十錢を小洋一元に改むる事等交涉を進めたる結果前二項は之を承諾したるも輸照料の點に於て目下行惱みつゝあり併し結局之を改正して解決すべし、さすれば支那一擔を一石に改め大洋一元五十錢と一石は約三擔に相當するを以て一擔大洋五十錢に相當する事となるべく此の機にて本秋新穀の成熟期頃より…

電鐵合併問題

(安東縣)

【大阪電報】北大阪電鐵對京阪電鐵の合併問題は評價その他の點にて折合はず九日夜兩社幹部會見折衝の結果京阪より北大阪の要求に對する態度を發表する事となりしより北大阪の重役と株主委員とは十日大阪ホテルに會合京阪側の内示せる譲歩の内容につき協議會を開きたるが結局十二日の總會に京阪側より正式に發表される譲歩案を株主に諮る事とせり

…解決を見るに至らんと傳へらる

東京物價騰貴

【東京電報】東京商業會議所調査に依れば七月中の東京卸賣物價は八十一種中前月に比し下落二十九種保合十七種騰貴三十五種にて之れが總平均は二分六厘の騰貴なり

滿鐵社債發行價格

滿鐵社債發行價格を九十六圓とせしは九十六圓五十錢の誤りに付訂正す尙右社債申込期日は八月十七日より二十一日迄なり

商品市況(十二日)

綿絲布（保合）大阪三品米著なるも米相場下げ止り模様當地一般實需待人氣にて相場保合の姿なり其の成行相場左の如し

粗布三〇一二百八十三圓九錢一百七十五圓大エ一二百六十三圓金剛山二百四十八圓金閣二百四十圓双鶴百八十四圓細布飛犬十三圓九十錢拜樂鳥十三圓晒金巾雅軍十四圓三十錢金鵬十三圓九十錢綿糸扇面二百七十五圓双女二百六十圓晒木綿橋竹一圓十五錢

鮮魚（一進一退）引續き入荷相當あるも買手活況なくダレ氣味なるが野菜品週の保相場强腰強く下等品二三圓處の下値を見たるも上物は概して强値を保持して居る其の主なる相場左の如し

仁川鯛百十圓鯛三十八圓小鯛五十圓鯛二十八圓いせ海老四十圓車海老二百四十圓も海老百二十圓小海老七十圓鯖二十圓さごし十四圓すゝき二十五圓平め十八圓めじ二十圓鯛十二圓あじ十八圓鰯八圓あい二百圓にべ十四圓

染料（漸落步調）引續き賣行振を通り極小數地方筋の補充當用…

物價と財界の前途【四】

本社の質問に對する有力者の意見

> 質問要項
> 一、物價の前途に對する御意見
> 二、經濟界の安定する時期は何時頃の御見込なるや

經濟信託社長　天日常次郎

(一)為政者の徹底的政策と國民の自覺に待たざるべからず、之が實現の曉に於て始めて物價は平調に復すべく其の時期は的確に豫測し難きも玆一ヶ年後には何等かの効果現るべしと做す

(二)前項と相待ちて實現するものと見、變なかるべきも經濟上對外とは至大の關係を有するものなれば其の時期の見込は經濟專門家の論批に俟す

○

證券信託常務　末森富良

(一)現在の商品中底値に近きものなきにあらざるも尙下落の運命を有するもの多數にして特に勞銀は最高時に比し些の下落せし痕跡だもなきもの、如し之が大に下落して初て諸物價は一定せん

(二)戰時直接の慘禍を蒙らざりし我國は其安定を計るに比較的入易を得せず經濟自然の理に委せしだけ他國に比し其安定期の到來が遲緩なるべきは自明の理なり而して英と云ひ米と云ひ國民難經つて整理に當りたる結果今や殆ど安定を得て恢復の氣運を呈せるに拘らず我國に於ては未だ不景氣の底に達せず而して實に險極を出現する時期は勞銀極度に低下して失業者百出し窮民其に之が救濟に全力を傾注するなるべく恐らく大正十二年末と想像せらる

○

京電庶務課長　山元利雄

(一)物價問題は其因果關係複雜にして決して單純に之が前途の豫測を許さゞるも大體に於て我國の物價問題は通貨問題に關かり萬事は時が解決するものと做ず即ち我國の正貨は今日尙十八億を保有するも歐米事狀異なれば…に我國の實力より觀て輸入超過は到底免れずして從つて正貨の激減を來し經濟に外債を募集するに非ざれば前途の窮迫を來し得ざりし觀經の窮迫せし時代は何れの日か到來すべし斯くて兌換券は減少し通貨の緊縮に收縮せらるべく隨つて輸出の增加となり貨幣價値の上騰は物價の下落たるの理は實現すべし戰前の物價指數を一〇〇とし九年三月には三八となりしものが今年三月には二一一となり此趨勢は尙止まざる可く米國戰前の五割高英國の倍以下に低下せる事實のあるのみならず世界經濟の險惡なる兆候より見て我國の物價は戰前の五割高以上を維持することは到底不可能なる可く夫れ以下に於て戰前に接近するものと見る可し

(二)經濟界安定の時期は到底推測し難きも少くとも先づ五六年は安定すること無かるべしと思はる經濟關係複雜の今日獨り我國や米國のみ超然たることは能はざるべし然るに歐洲の經濟界は西歐の恢復及獨逸の賠償問題に曙光を認めたるあり若之が目鼻の付きたるとするも眞の安定迄には極めて長年月を要すべしと思はるゝのみならず歐洲各國の不換紙幣の整理等容易ならざる難關ありて數若干年間は我國の如き常に波動を受け從つて安定は望まれざるべし

雜記帳

▲資金の内地流出問題が喧しいが本年は九月に於て兌換銀行券は大に於て内地へ移送されたものが六千四百六十八萬三千圓餘に内地から移入された分が二千四百三十八萬圓餘で…差引三千六百九十萬七千餘圓の流出と來た▲是は綿絲布や資料の移入超過の一因であつて要する資金の…其の一因で數字を示さずに困つたのだ▲此の數字を…

株式(十二日)

現株市場出來値

銘柄	前場 今週物	後場 寄付	後場 大引
京取引	六八・〇〇	六〇・九〇	六五・一〇
仁取引	(二七・〇〇)		(二七・〇〇)
同新引	六三・五〇		六三・五〇
鮮銀引	八〇・七〇		
同新引	三一・五〇		三一・五〇
殖銀引	五一・〇〇		四九・〇〇
同新引	三一・五〇		三一・五〇
武銀引	三一・一〇		三一・一〇
商銀引	四六・〇〇		四六・〇〇
同新引			
漢銀引	四九・五〇		四九・五〇
同新引	八・〇〇		八・〇〇
韓銀引	二三・五〇		二三・五〇
東拓引	二三・〇〇		二三・〇〇
同新引	四四・〇〇		四四・〇〇
鮮土引	二五・五〇		二五・五〇
朝紡引	一三・一〇		一三・一〇
滿毛引			
京電引	一一・五〇		一一・五〇
瓦電引	一一・五〇		一一・五〇
商産引	一六・五〇		一六・五〇
朝郵引	四三・五〇		四三・五〇
殖鐵引	六・五〇		六・五〇
中鐵引	四八・五〇		四八・五〇
滿鐵引	一〇四・〇〇		一〇四・〇〇
同新引	四八・〇〇		四八・〇〇
東電引			
同新引	四八・〇〇		
京電引	四三・五〇		
同新引			
東拓引	二三・五〇		
同新引	八六・〇〇		一六・五〇
奉取引	九・〇〇		
大新引	七・五〇		七・五〇
上取引	六・五〇		六・五〇
新東引	八六・〇〇		八六・〇〇

乙の部

銘柄	期限	寄付	大引	高値	安値
京取 前		五五・八〇	五五・八〇	五五・八〇	五四・〇〇
京取 後		五五・八〇	五五・八〇	五五・一〇	五四・〇〇
仁取 前					
同新 前		三五・五〇			
大新 前		七・五〇	七・〇〇		
大新 後		七・五〇	七・八〇		七・二〇
滿毛					
朝紡					
鮮新					
拓新					
安取 前		二四・四〇	二四・四〇	二四・〇〇	二四・〇〇
安取 後		二三・七〇	二四・〇〇		

出來高

甲部	千五百二十枚	
甲部計	十八萬二千百八十枚	
乙部	百三十枚	
乙部計	一萬七千二十九枚	
短期	二千八百二十枚	
短期計	二十二萬七千七百枚	
短期日步		
京取	逆二五	逆一〇
仁取	六〇	朝紡
同新	一二五	鮮新
大新	六〇	拓新
滿毛	〇五	安取

大阪株式

銘柄	十二日前場大引	十一日後場大引
大株	一〇八、六〇	一〇九、〇〇
同新	九〇、七〇	九一、三〇
郵船	八四、九〇	八四、二〇
同新		

銘柄	十二日前場寄付	十二日後場大引
郵船	三〇七、四〇	四一、八〇
同新	二九一、六〇	三〇六、九〇
鐘紡	一二五、三〇	二九二、五〇
東紡		
大株	一〇九、二〇	一〇九、四〇
同新	九一、五〇	九一、六〇
商船	八五、二〇	八五、〇〇
同新	四二、九〇	三一、七〇
鐘紡		
同新		
東紡	三〇七、五〇	三〇八、五〇
同新		二九三、九〇
		一二六、三〇

大阪延取引

銘柄	十二日前場寄付	大引
大新	七七、〇〇	七七、六〇
鐘紡	二八八、一〇	二九〇、〇〇
天取		

銘柄	十二日後場寄付	大引
大新	七八、〇〇	
鐘紡	二九、九〇	
天取		

安東株式

	寄付	大引
○十二日前場 安取先當	二四、六〇	二四、七〇
	二四、八〇	二四、九〇

中鐵新株上場

亞新滿毛休止

京取市場にては十九日前場限り亞新滿毛の短期取引を休止し同日後場より中央鐵道新株を同取引並に週間取引に上場することゝなれり

朝紡配當落

朝鮮紡織株は十二日後場來週取引より配當落ちとなれり

前場閑散

今前場は昨後場引勝の氣先今朝大阪大新七十七圓ドタと變らぬ移りに市場は惰氣滿り相場は焦付狀態にて閑散裡に氣弱く大引した期ちも取は今週五十錢高來週前出來値より九十錢安に引仁取新株は今週出來ず京取短期は五十錢高來週出來ず短期は二十錢高一本にて不勞に引京信新は今週保合來週出來ず同新は一圓安安取は今週十錢安の氣配來週は出來ず短期は弱く八十錢安に引京信は一圓高大新は今週五十錢十一圓十錢安其他諸株は依然手合なく鮮に保合の氣配を示して大引せり

京取軟弱

京取株は昨後場小高く打止めた氣先今朝大阪の變らざる移りに活氣無く相場は殆んど焦付の狀態にて來ざる事影へ場面閑散後場も短期は中實大島買にて六十九圓八十錢と保合に寄り付跡田中實池田買にて七十錢より小刻みに三十錢迄押し三十錢と返し大引來週安週出來ず新株は引五十錢安と一圓高に寄り付たるも跡五圓五十錢と押し大引出來ず十六圓十錢と押し大引たは六十六圓五十錢高で不勞に引來週物は全然出來ず見送りに引

京信新保合

京信親は昨保合の氣配に引けたが今朝は京取の軟弱に今週物は五十二圓五十錢と一圓安に寄り付僅かの手合あり來週出來ず同新株は昨品騰の氣先年ら十六圓三十錢と保合に寄り付値に引來週は出來ず

大新保合ふ

大新は昨後場保合の氣先大阪の不勞を入れて路狀伴へず短期は有田實新田買にて七十七圓六十錢と十錢安に寄り付七十錢と返し六十錢と押し大引出來ず十錢安保付狀態に引週間物は五十錢高の氣配のみに引

仁取無氣力

仁取新株は昨晶騰の氣先大阪の冴へざると京取の軟弱に氣乘薄く短期は中津留實池田ひにて僅かに三十の手合ちり六十二圓三十錢と三十錢高の一本にて見送りに引週間物は單に三十錢高の氣配を示したるのみに引

安取買氣衰ふ

安取は昨安取地場の高報と一部の煎心買に品騰して打止めた氣先今朝大阪の變らぬ移りに買氣稍衰へ不味なる商狀にて二十錢と押し大引…を出し…にて四十錢と三十錢と返し大引井口實北村と押し三十錢と押し大引川實北村り付跡田中實大島市川買にて二十錢安に寄り付大引八十錢安の氣配に引週間物は四十錢安の氣配に引

奉信無力

奉信は久しく無氣力の商狀を續け居れるが今朝は諸株の軟弱にも不拘今週物は九圓ドタと一圓高の商内あり來週は出來ず依然不勞に引

株界小言

▲久しく惰氣漫々たる市場も昨大島の買進みに氣を吐いた丈けで今朝は又々焦付狀態に陷つた如何に大阪次第の相場とは云ひ乍ら斯くの如く腰が弱く灰汁ぬけくては手も足も出ないのに無理がなく又もや一頃の閑散狀態に陷りそうである

▲從つて現在の市況が質に無目先見當が付かず須迷狀態であることは事實であるが今日の財界を理想的に解釋すれば何等かの刺戟を與へると見るの外はないが人氣の裏をかいて居る者有の心でも感じ起るでもあるかも知れぬ

▲併し今日の無氣力な狀態も時勢の然らしむる所で從つて時勢の流れには人力の如何とも爲し難い天の理法が行はれて居るのであるから如何に資力ある者と雖も遂には滅亡の外はない

▲如何に相場が上手であり又實力のある大手であるとしても政府の經濟方針や財界の大勢の値の流れを考慮せずして範圍を頼んで力を充てにして居れば時にけ其勢の行き詰りに出會ふ事になり…

▲近頃はマバラが落付拂つて上手を語つて居る

株式會社京城株式現物取引市場仲買人　◯中津留株式仲買店　電話長九〇七番

京城現物取引市場仲買人　市川株式店　電話長一〇六五番

後場軟勢

後場は前場保合の氣先大阪跡七十七圓六十錢と小高き移りも氣配は一齊に小安く閑散無氣力に打止めた

京取　短期は井口中津留實にて六十五圓十錢…

仁取　新株短期は中津留實にて六十二圓四十錢と二十錢安に寄り付一本週間物は二十錢高の氣配に引

安取　短期は中津留實、大島買にて二十錢安に寄り付跡池田實大島買にて七十錢と二十錢安と押し大引川實三十錢安と押し大引…週間物は一圓安の氣配…不勞に引

大阪京城現株取引市場仲買人　新田耕市商店　京城黃金町二丁目一九番　電話長五〇七番

大新　短期は立本實新田實北村にて七十七圓七十錢と十錢安…

京信　親は今週五十二圓…錢と返し二十錢高に引…と保合來週は出來ず…同新共に多少の下押しを示し其他は閑散に引

米況(十二日)

仁川期米

前場跳み上

昨後場阪地の止め安に三十圓九十四錢と小強みせしが今朝阪地寄附三十一圓九十五錢の手堅き移りに買過きの反動を喚起して當出來さりしも中三十一圓〇五錢先三十一圓十五錢と二十一錢高に寄付きたり

▲第二節　當出來ず大阪四節三十九錢の高移りに中三十錢先三十錢より三十錢と吹上げ目先の手詰めに三十錢と小マバラの買物殺到して四十三錢と吹みせしが押目は前買ひ殘へず再び四十三錢と跳返して引

▲第三節　當中出來ず大阪跡二十四錢の小甘き移りに先三十錢より二十五錢と小強みしが押目は前物殺へ三十五錢と跳返し一錢と手堅く引

▲第四節　大阪跡五十錢の高移りに三十一圓三十錢先三十錢より五十錢と手堅く引…當出來ず先五十五錢と反撥し一錢と手堅く引

▲第五節　當中出來ず先五十五錢より四十四錢と目先の利喰に小強みせしも押目は買氣殘すず八錢と引離り…

▲第六節　當出來ず中止九錢先五錢より三錢と繰り返し大阪止め四十八錢の移りに四十八錢と下道ひせしが押目は踏み殘りの買物に六十錢と吹き上げ五十六錢と強顏裡に大引せり

踏み上ける

大阪が三十二圓突まで跳返しては行へ直ちに一圓突に乘げ込むと云ふ現狀に來るより各店の表舍せも昨場の引跡買玉十九店に買ひは僅かに右店と云ふ上長を示し如何に來客筋が資翁のつゝあるかを窺はした…買方は得難ひが目先の高値を上廻りたる爲め買方は得つゝ弱氣の手詰め買ひ利向き漸く遂に三十…

仁川㊇鳥居仲買店　電話六三八番

後場氣鈍し

▲第一節　當中出來ず先三十一圓四十錢より…

▲第二節　當中出來ず先一圓十錢より…

▲第三節　當中出來ず先三十二錢より七錢と…

▲第四節　…

▲第五節　中二十五錢の寄止め先三十五錢より十錢と操け六錢と引

	當限	中限	先限
出來高	二千六百石	十九萬七千三百石	
取組高		二萬七千二百石	
總計		一五〇二二〇〇石	

○十二日前場

	當限	中限	先限
寄付	三一、一五		
止め	三一、一五		
高値	三一、五六		
安値	三一、六〇		

○前場公定値

一節	三一、一五
二節	三一、三七
三節	三一、三〇
四節	三一、四九
五節	三一、五九
六節	

▲後場公定値

一節	三一、四〇
二節	三一、一六
三節	三一、一七
四節	三一、三五
五節	三一、三六

米界餘聞

米界の昨今の市場は猫眼的と云ふか何と云ふか、外來的の寄付と云ふ木で鼻を括つた方向で遊ぎ廻つてゐる其の遣いが投げて來る處を逆落へ崩れ上げの總賣を受けて來るに僅か百石の金儲けは朝飯前の玉に一體何と云ふ利いた者が寄附で取る…

京城穀物

正米現物

…は出廻りつゝ玆多少の商物物…京城地場物は依然として腰強く三等合格米は三十三圓三十錢…

大豆

京畿産元鍛物は多少見物ありと雖も地廻しの注文は配手に付き…

步み

八月末限三一〇二▲二、九月中限三一四五▲二、五五一、五六、六〇

仁川正米

定期の反撥にて手持筋は三十二圓四五十錢見當を唱へ居れるも内地筋の注文不振の爲め活氣乏しく手合ひと…

釜山正米

内地期米持合ひを移して市場見送りの姿を呈し今朝は改良都三十二圓八十錢神力三十一圓四十錢にて一千俵の商内ありたり

延

八月末限三十一圓二十五錢、九月末限三十一圓二十一錢

大豆

正米の弱人氣に連れ十六圓七十錢を唱へ居るも氣乘り薄にて商内更に出來せず

群山正米

雨

八月末限三十一圓六十錢九月末限三十一圓…錢現物三十圓九十錢…萬七千石(十三日)

大邱正米

九月末限三十一圓九十錢より…

兵庫期米

○十二日前場

	寄付	止め
先	三一、八九	三二、〇

下關期米

各地期米

○十一日前場止め

東京	三二、二〇
兵庫	三一、八五
桑名	三一、九四〇
熊本	三一、五一
大阪	三一、九三
下關	三一、〇八
名古屋	三一、六〇
金澤	三二、五〇

東京期米

大阪期米

○十二日前場

	前場	後場
寄付	三一、九〇	三一、四〇
二節	三一、九五	三一、六〇
三節	三一、八六	三一、五九
四節	三一、六〇	
五節	三二、〇一	
六節	三二、二九	

大阪三品

仁川米豆取引所仲買人　吉金仲買店　電話長七六番・八五番

仁川米豆取引所仲買人　那須仲買店

株式會社仁川米豆取引所仲買人　李孝健

差引殘高

買方		賣方	
㊀	一〇〇〇		二〇〇〇
	一三〇〇〇		三〇〇〇
	一六〇〇〇		一七〇〇〇
	一四〇〇〇		一四〇〇〇
	二四〇〇〇		八二〇〇〇
	一八〇〇〇		一二〇〇〇
	六〇〇〇		

七限格付發表

前月の總會の七限に對する受渡石數千六百石の格付及び容量等は左の如く發表せられた

丸へ(中安治米)千四百八十二叺は一叺に付き四合平均の出桝格付は最低三圓二十五錢下げ最高一圓三十五錢下げ平均二圓六十五錢下げ

角へ(平安南道米)千二百三十一叺に付き三合平均の出桝格付は三圓四十錢下げにして不合格となりし分五百四十三叺

角チ(忠清南道米)千二百八十四叺之れに對する容量は一叺に付き一合宛の桝切れ格付は最高十五錢下げ最低四十錢下げ平均三十錢宛の下げ其外一叺に付き丸へ角へ二錢宛角チ二錢五厘宛の改裝料を徴收する事となれり

淺野の賣出動

…買方の大根據とせる東洋の淺野は過般來の不勞を機會に再び出動し其實玉は既に約一萬五千石を突破せる一人であつたが今回の反落を機會に一寸手詰めを行ひたる…

演藝案內

中央館　永樂町四五電話二一〇四

八月十日より上映
思はぬ殘暑　手品　實寫
寫眞探偵の…　兒來也　全五卷
…

浪花館　壽町電話二六〇

八月十二日より
納涼興行　浪界の二大巨頭…

喜樂館

新派　赤き絆　全四卷
新派悲劇　燃ゆる思　全六卷
碑文谷美談　全六卷

京龍館

赤垣源藏　全五卷
プライド　十三卷
蝶々會二行

黃金館

國境の脅威　二卷
晩秋の哀別　五卷
サーカス王　四卷
拜金狂　五卷

大正館

狂亂の血　全六卷
天守の怪　全八卷
呪はれし親子　全五卷

法人登記公告
…大正十一年八月二日登記
京城地方法院旌善出張所

東亞牧場　(電話二二番)
全乳

テントカバーベルト
艦具金物塗料商
帆布　近江帆布
株式會社
村谷吉藏營業部　電話長五六番・京城五九番

十三日封切
松竹特作大悲劇　呪はれし親子
諸口十九、川田芳子、正邦宏、遠山緑主演
全五卷　澤村四郎五郎一派力演
天守の怪　大探偵
長篇全八卷
狂亂の血
石田旭花・宮島保説明
大正館

強胃消化藥　マーゲン

オキシフル　純良過酸化水素液
オキシフルは純良なる過酸化水素液にして使用上安全無害なる消毒制臭漂白劑なり。醫藥としては外科、耳鼻咽喉科、齒科、産婦人科等各科に賞用され、又化粧用として齒牙を美白ならしめ、口臭を去る等に推奨せらる。
説明書あり進呈す
▲容量四オンス、壹磅入の二種あり、各地有名藥舖にあり
▲工業用品は別に御相談に應す。
製造發賣元　東京日本橋室町三丁目　三共株式會社
出張所　大阪淡路町堺筋　臺北市表町

懸賞當選小說

潮鳴る半島（12）

馬場明作　鶴田吾郎畫

女王（四）

『さうぢやよ、耕作部と云へば、まあ百姓の仕事をするのぢや、つまり農事部ぢやな』

三造は、まじめになつて、朗子に說明した。

『それでは阿父さま、誠一さんはお百姓におなりになるのですわね？』

『まあさうぢや――尤も誠一は自分で百姓の仕事はしないのぢやが、その經營をするのぢやな』

『それでは誠一さんは、もう銀行の方へは、お這入りにならないのですか？』

『はつははは、朗、お前、わしにそんなことを訊かなくても、誠一に訊けばえゝぢやらう？わしより誠一の方がお前は仲よくしとるのぢやないかな？』

『いやあよ阿父さま、そんなこと仰つては……だつて、誠一さんはちつともそんなこと、私にお話をして下さらないんですもの……』

朗子はかう云つて、恨めしさうに誠一の方へ流眄を送つた。しかし誠一は冷い顏をしてゐた。

『なぜ話をしてくれないのぢやな。もうお前達は、いつまでも子供でないのぢやから、ちつとは將來のことでも考へて、互に話し合つて睦かになあならんよ』

三造はまたから二人をたしなめるやうに云つた。

『えゝ、阿父さま……』

と、朗子は、やや嚼ぎ込んで來た。そしてなにか云はうとあせつてゐるやうに見えたがそばの誠一やその他の人に氣をかねてゐるやうに、そしてまた、急に胸が迫つて、ものが云ひ出せないと云ふやうに、眼にいつぱい涙をためて、眞つ紅になつて長い縮緬の袖で、顏を掩ふてしまつた。

『……なんぢや？なにを云つてゐるのぢや……はつははは、もう誠一と喧嘩でもしたのか――いやあまり仲が好過ぎるからすぐそんなことになるのぢや、はつははは』

と、三造は笑つて、

『なんしろ、幼い時から、兄妹のやうにして、わしの手許にかけて育てたのぢやから、やつぱりその、心安だてにすぐ喧嘩をするのぢや――まあ痴話喧嘩ぢやな――はつははは』

と、三造はつけ加へて伏田を顧みながら笑つた。

『ごもつともです。お仲のいゝのはそばから見てゐても、氣もちのいゝものでございましてね』

伏田も合槌を打つた。

『あんたもこれから、こんな子供相手ぢやから、なかく骨が折れますわい』

三造は、なにかその人に責任を負はせる段になると、常の『君』が、『あんた』になつた。

『どういたしまして、こちらから御指導を仰ぎたいと思つて居ります』

伏田は、また前と同じやうなことを云つた。

『阿父さま、わたくし、ほんたうに阿父さまにお願ひしたいことがあつてよ……』

『お願ひしたいこと？……なんぢやなにをわしにしろと云ふのぢやな』

朗子が眼を曇ませて、一生懸命になつてゐるので、三造も稍眞面目になつた。

『阿父さま……わたくし、こゝではどうしても申上げられませんの、だから阿父さま、あちらの、お部屋へゐらして頂戴な……』

皮膚科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

かき餅 京城本町 だるま堂 本局三八二番

時計御註文は 村木時計店へ 電話四一七

京日文苑（投稿歡迎）

短歌 題『家』 尾上柴舟選
俳句 題『初秋』 楊柳局選
川柳 題『眼鏡』 劍花坊選
締切 八月二十五日（各題共）
賞金 天一圓五十錢、地一圓、人五十錢
注意 一題五首（又は五句）各題別紙、用紙は半紙に限る、雅號住所氏名明記、京城日報社『京日文苑』係のこと

短歌　尾上柴舟選

課題『木』

◇ 散千代（大邱）
郊外の並木のかげを我が車靜やかに行く春の夕暮

◇ 安本霞光（龍山）
幽かなるポプラの蔭に仄見ゆる鮮人の草家はなべて愛しき

◇ 金川好子（宣川）
アカシヤの花は白き夕ぐれの木の下に來て安らかに泣く

◇ 高橋安彦子（東京）
新しき木の芽の青くにほふ日を夏としらせて山風の吹く

◇ 三春文子（京城）
夜の風ほのかに吹けば植込みの木々の葉づれの音靜かなり

◇ 大村たそがれ（京城）
つばらかに木の葉をうてる雨の音夜くだち聞けばあやに淋しも
◇
ほろほろほろ音も得立てずアカシヤの花散るありき夕暗の水に
燃えさかる魂を抱きて今日もまたひとり若葉の並木道ゆく

俳句　本社楊柳局選

〇 水原 精果
逞ましき裸女や夏の月
〇 永平 雄部
水車跳ね上ぐる水に夏の月
〇 京城 のぎく
夏の月庭のダリアの美しき
〇 龍山 東子
一所明るき木の間夏の月
〇 龍山 臥牛
病して尙ほ物喰へぬ夜や夏の月
〇 同 之永
夏の月參道廣く風疎なり
〇 黄州 但水
曳舟の綱の光や夏の月
噴水の飛沫にうつる夏の月

土曜會句集

竹の葉の揺れて見えけり夏の月
〇 京城 南堂
夏の月畔をうつる鳥の鳴く
〇 京城 〇丸
夏の月朕朝んで吹くハーモニカ
〇 端川 徐子浪
夏の月山影らして河白し
〇 平壤 一萍
夏の月ボート漕ぎ出す二少年
〇 同 蕉雨
夏の月なめくぢ光る芭蕉の葉

夏休（一一、八、五）

姉は日毎洗がけなり夏休　左人
夏休最後の一日惜しみけり　同
夏休姉と背丈をくらべけり　鶴仙
母健に麥飯に鼓腹夏休　麥風
夏休寂寞として寄宿寮　硯堂
山容水相懷しきかな夏休　同
涼追うて史蹟調査や夏休　秋峰
寒村に博士揃ひぬ夏季講習　淺子
夏休兄妹六人そろひけり　同
山も川も我に懷かし夏休　蘇花
夏休讀書に暮く旅中の句　同

皮膚科（診察夜九時迄） 花柳病 皮膚病 入院隨意 電話一參七參 京城明治町一丁目 佐藤醫院

佳句『夏の月』

〇 德川 黒
芍藥の畑果てもなし夏の月
〇 龍山 激水
腰おろす石冷たさよ夏の月
〇 南川 芳子
湖の艀の笛に眼覺めて夏の月
〇 新溪 柳村
馬洗ふ人裸なり夏の月
〇 龍山 双川
水亭に妓生の唄や夏の月

新刊紹介

貧か富か（安達憲忠氏著）著者は三十年の久しきに亘り貧民救濟の職務に從事し其の間貧民の心理に就て深く研究し其の結果を纏めて茲に一書を編まれたもので子女を諭へ社會を導く上に於て好參考資料である（二圓二十錢東京小石川區音羽町六寶館社）

▲南柯（八月）俳人の因習的偶像（鶴塘）尾崎行（小波）蟠龍山の殘雪（水哉）を始め鳴雪選の雜詠、篠原、うさぎ、綠雨氏の選句及本誌の一特色といふべき女流俳句（法外選少年俳句（梅南支選）各地會報其他を網羅してある（三十錢東京赤坂區中之島町七共社）

▲アリナレ（八月）選外句を掲載しないことにして餘程內容がシッカリして來た（會費五十錢朝鮮新義州櫻町鴨鳴吟社）

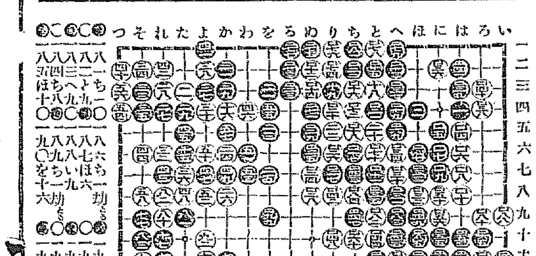
▲くるみ（八月）天安を中心とする熱心なる地方俳人の機關雜誌である（非賣品朝鮮天安其吟社）

▲ジャパンタイムス（八月號生學）八一日）月二回一部二十五錢東京日比谷公園前共川販所 ▲少年號（八月）二十五錢東京日比谷公園前ジャパンタイムス學生號出版所 ▲ジャンボリー（八月）十錢東京文部省社會教育課內大日本少年團 ▲フースヒー（八月一日）月三回一部五錢東京芝松坂町共社 ▲發隊（八月）京城南山町三本願寺

佐々木 胃腸病院 京城明治町一丁目 入院隨意 電話一六五九番

圍碁新局（十）

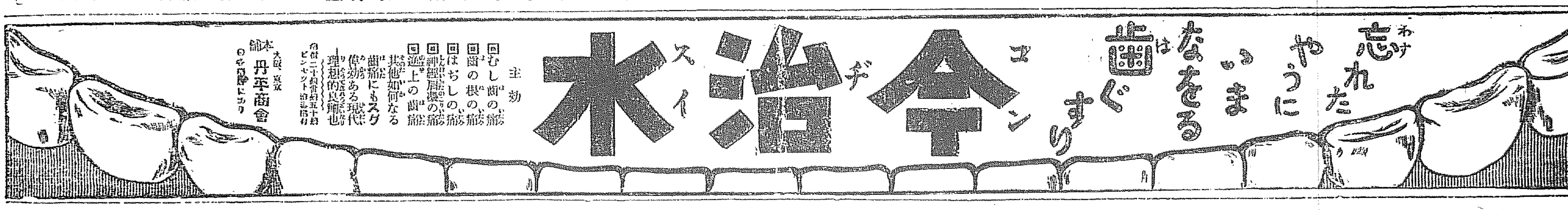
先 三段 紀本龍太郎（京城）
細川千仭



家傳靈藥 小松ぢの藥

㊀疣痔―いぼぢ
㊁裂痔―きれぢ
㊂痒痔―かゆきぢ
㊃痔出血―はしりぢ
㊄脱肛―でぢ
㊅痔瘻―あなぢ
㊆其他痔一切之專門藥
各痔疾中尤も重症の脱肛痔瘻等不灼不切現狀の儘治癒せし方數千人に達し居る靈妙藥なり

一、本痔の御經驗の方は本劑を以て治癒の上輸快に述懷せられん事を勸告す
一、原理書、併せて全國患者實驗例付進呈申込次第無代呈す
一、當痔藥大之效驗や廣告はせず効驗之眞價なる藥は全國患者諸氏の認識せらるゝ處なり
東京京橋區 盛林堂
本舖 小松喜一郎藥房（振替東京一九七）
一、市內各藥店及び全國特約地方各藥舖に有御求めの節は小松痔の藥と御指名あらん



ゲンノショウコエキス

危險々々

傳染病流行の危險を眼前に控へ天下の諸氏に警告す

頃日內鮮を通し赤痢、腸チブス、疫痢等恐るべき傳染病益々猖獗を極めんとする秋に際し各自家庭に於て是れが未然に豫防せざるべからず其豫防藥多々あると雖も未だ本劑の如く靈妙の効驗ある藥種を知らず既に本劑を服用し是等恐るべき惡疫患者の全治者より來る禮狀日々山の如し

『ゲンノショウコ』は人蔘と共に古來下痢症の特効藥として尊重せられたる物で現の證據醫者泣せ忽ち草現の奇特等の名稱の下に漢方醫の汎く實用せられたる藥物の一なり西洋醫界の間に其効力を疑われ漢方醫法の衰退と共に只僅かに民間に應用さるゝに過ぎざりき然れ共近年成分及効用に對する研究さるゝに及んで『エキス』と成して使用さるゝに到れり

『ゲンノショウコ』の應用は伊能、高田、郭の諸醫學博士の東京醫事新誌に報告せらるゝに及んで其効力の顯著なることは最早疑を入るゝ餘地なきものとし近來赤十字病院其他の醫院に於ても同症者に服用せしめつゝありと云ふ元來下痢症なるものは凡て胃腸の障害より起るものにして下痢症狀の全治したる時は胃腸の健全になりたる時なり故に恐るべき死病たる赤痢コレラ、腸チブス等の如きは平時胃腸の不健全なるに起因するものなり殊に惡疫流行の今日に於ては本劑を平時服用し胃腸を健全にならしめ以て惡疫の豫防を必要とす本藥は胃腸藥として諸藥の上に出づと云ふを得べし故に諸氏は惡疫流行し危險なる今日本劑を世間有觸たる賣藥と同視せられず是非本藥一瓶を試られ直ちに胃腸の健全となる

本劑の効能 〇急性下痢〇慢性下痢〇腸胃加答兒〇食過〇食傷〇時候あたり〇水傷〇冷腸〇胃腸の障より起諸症〇疲勞の恢復

適用量 大人一日三回の量一瓦とす
但し一回の量は容器中にある匙二匙を溫湯にて溶解して食前に用ふべし子供其半量
注意下痢急劇に來る時は一日の量を極量として一回に用ふべし

定價

十日分	十瓦	金六十錢
廿日分	廿瓦	金一圓十錢
四十日分	四十瓦	金二圓
百日分	百瓦	金四圓五十錢

製造本舖 東洋藥舖
京城府南大門通二丁目（明治町電車停留所前）
製造技師店主 箕田金太郎

販賣所 京城日報代理部 三越吳服店

其他有名藥店にあり